

平成30年度向日市地域福祉計画策定・推進委員会

平成31年3月20日(水)

午前10時～午前11時半

向日市役所本館 大会議室

議事次第

1 開 会

2 議 事

(1) 第2期向日市地域福祉計画（前期計画）進捗状況について

(2) 地域福祉懇談会の報告について

(3) 次期計画策定に向けたアンケート調査について

(4) 向日市社会福祉協議会における取組み事例について

3 閉 会



む こ う し
向日市
古都のむこう 魅力のふるさと

資料 1

第 2 期向日市地域福祉計画 (前期計画) 進行表 (平成 3 0 年度)

平成 3 1 年 3 月
市民サービス部地域福祉課

（進行表の見方について）

- 1 本進行表は、第２期向日市地域福祉計画（前期計画）の「施策の体系」に合わせて構成しています。
- 2 事業概要及び実績は、平成２９年度の内容を元に記入していますが、年度途中での公表が困難なものは、前年度のものを記入しています。
- 3 進捗状況欄の記号の説明は、次のとおりです。
 - 「済」…計画が完了
 - 「Ａ」…計画以上に進んでいる
 - 「Ｂ」…計画どおりに進んでいる
 - 「Ｃ」…計画より遅れている

第2期計画（前期計画）		取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況	
第4章 地域福祉推進の取組み											
1 地域での支え合いの推進											
	(1)	地域とつながるきっかけ・顔が見える関係づくり	①地域の魅力等の広報・PRの推進 転入者や若年世帯など、近所づきあいや地域と関わりの少ない市民が、地域に関心をもちやすいように、地域の魅力等の広報・PRを進めます。	●広報・ホームページ等による情報提供	・地域の特徴や魅力、各地域の祭りや行事などについて広報むこう・ホームページ等を活用し、向日市を「ふるさと」として愛着と誇りを深められるように情報を発信します。 ・地域に関心を持っていたけように工夫をしながらPRをしていきます。	1-1	地域福祉課	●「広報むこう」及びホームページによる情報発信 概要：生活保護制度・民生児童委員制度の案内の他、福祉会館、ゆめパレアむこうといった住民に身近な施設の情報発信を行った。また、臨時福祉給付金の申請を促進するため、わかりやすい紙面づくりに努めた。	B	●「広報むこう」及びホームページによる情報発信 概要：生活保護制度・民生児童委員制度の案内の他、福祉会館、ゆめパレアむこうといった住民に身近な施設の情報発信を行った。	B
						1-2	企画広報課	●「広報むこう」の発行 概要：市のさまざまな情報を伝えるため、市内の全世帯および事業所を対象に、広報むこう（A4版フルカラー）を発行し、市の事業、施策の説明、くらしの情報や催しの案内などをお知らせした。 実績：発行回数12回 1回あたり約24,800部発行) ●ホームページ・フェイスブック・LINEの運用 概要：市政情報やまちの話題、イベント等を掲載し、市に関心を持ってもらえるよう情報を発信した。 実績：ホームページ月間平均アクセス数約50,000件、フェイスブックのフォロワー者数597人（1月31日現在）、LINEのお友達数954人（1月31日現在）	B	●「広報むこう」の発行 概要：市のさまざまな情報を伝えるため、市内の全世帯および事業所を対象に、広報むこう（A4版フルカラー）を発行し、市の事業、施策の説明、くらしの情報や催しの案内などをお知らせした。 実績：発行回数12回 1回あたり約25,400部発行) ●ホームページ・フェイスブック・LINEの運用 概要：市政情報やまちの話題、イベント等を掲載し、市に関心を持ってもらえるよう情報を発信した。 実績：ホームページ月間平均アクセス数約150,000件、フェイスブックのフォロワー者数665人（12月31日現在）、LINEのお友達数1,399人（12月31日現在）	B
				●生涯学習に関する情報提供	・「生涯学習情報」を発刊し、福祉をはじめ、趣味、健康、教養などジャンル別の研修会や講座開催の情報発信に取り組みます。	2	生涯学習課	●生涯学習情報紙の発行 概要：生涯学習関連事業を広報するため、生涯学習情報（前・後期）及び子ども向けの夏休み特集の情報紙を計3回発行。 実績：①生涯学習情報（前期・後期2回） ・発行部数 各450部 ・配布機関数 43 ②夏休み特集 ・発行部数 5,990部 ・配布機関数 29	B	●生涯学習情報紙の発行 概要：生涯学習関連事業を広報するため、生涯学習情報（前・後期）及び子ども向けの夏休み特集の情報紙を計3回発行。 実績：①生涯学習情報（前期・後期2回） ・発行部数 前期460部・後期500部 ・配布機関数 50 ②夏休み特集 ・発行部数 6,000部 ・配布機関数 31	B
				●講演会等の開催支援	・イベントを通じて地域の福祉団体等によるPRをはじめ、福祉講演会や各種講座・研修会などの開催を支援します。【市社協との連携】	3	地域福祉課	●福祉教育・ボランティア学習プログラム（社協） 概要：市内の小・中学校、高等学校や団体等が主催する福祉学習等に対して、本会が障がい者団体やボランティア団体等と連携して支援した。 実績：調整件数 11件（累計35の個人・団体が講師として授業を実施）	B	●福祉教育・ボランティア学習プログラム（社協） 概要：市内の小・中学校、高等学校や団体等が主催する福祉学習等に対して、本会が障がい者団体やボランティア団体等と連携して支援した。 実績：調整件数9件（累計25の個人・団体が講師として授業を実施） ●同上 サービスラーニング編（社協） 概要：勝山中学校1学年の総合的学習の授業で、福祉学習グループの児童が認知症サポーターの啓発活動を実施した。 実績：児童60人	B
		②自治会への加入促進 ・加入率が低下している要因や自治会に対する市民のニーズを把握し、関係機関と連携しながら、自治会への加入を促進します。	●自治会への加入促進	・自治会への加入促進について、広報むこうやホームページ等で啓発を図るとともに、転入届等の手続きの際に、自治会加入案内等のチラシを配布するなどの取組みを行います。	4	総務課	●自治会加入促進 概要：市ホームページにおいて、自治会への加入を呼びかけるとともに、向日市への転入者に対し、地域とのつながりの大切さを伝え、自治会への加入を促すチラシを配布した。	C	●自治会加入促進 概要：市ホームページにおいて、自治会への加入を呼びかけるとともに、向日市への転入者に対し、地域とのつながりの大切さを伝え、自治会への加入を促すチラシを配布した。	B	
③地域の居場所・集いの場づくり ・地域の人たちが誰でも気軽に集まり、交流できる場や機会の充実を支援します。 ・身近な地域の中で高齢者や子ども、障がいがある人など、誰もが参加したくなるような交流の場づくりを進めます。	●地域健康塾の実施	・高齢者が地域で気軽に健康づくりに取り組むことができるよう、公民館やコミュニティセンターなどで地域健康塾を実施し、参加者同士の交流を促進します。	5	高齢介護課	●地域健康塾の開催 概要：高齢者が身近な公共施設で、月3～8回程度、交流を図りながら健康づくりをする介護予防事業「地域健康塾」を実施した。 実績：延べ参加者数9,912人、実参加者数504人、実施回数541回（平成29年度末見込数）	B	●地域健康塾の開催 概要：高齢者が身近な公共施設で、月3～8回程度、交流を図りながら健康づくりをする介護予防事業「地域健康塾」を実施した。 別に、5人以上のグループで場所を確保できたものに講師を派遣する健康塾派遣事業を開始した。 実績：延べ参加者数10000人、実参加者数520人、実施回数590回、派遣グループ3グループ（平成30年度末見込数）	A			
	●子育て世帯の集いの場づくり	・子育て世帯が集まり、相互交流が行える地域子育て支援拠点や、子育てについての相談や情報提供、助言を行う利用者支援事業など内容の充実に努めます。 ・地域の公園や公民館等に出向き、地域の親子が交流できる集いの場を提供します。	6-1	地域福祉課	●「絵本のよみきかせ」の開催支援 概要：向日市民生児童委員連絡協議会が主催しており、保健センターで実施している健康相談に来られる親子を対象に、待ち時間を利用して絵本のよみきかせ等を行い、交流を深める支援を行った。 実績：開催回数年4回 参加人数（延べ）大人100人、子ども102人	B	●「絵本のよみきかせ」の開催支援 概要：向日市民生児童委員連絡協議会が主催しており、保健センターで実施している健康相談に来られる親子を対象に、待ち時間を利用して絵本のよみきかせ等を行い、交流を深める支援を行った。 実績：開催回数年4回 参加人数（延べ）大人118人、子ども129人	B			

第2期計画（前期計画）			取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所 課 管	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況
						6-2	子 育 て 支 援 課	●利用者支援事業（基本型）子育て世帯にとっての身近な場所で、幼稚園・保育園や子育て支援事業についての情報提供及び相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施した。 実績：すくすくガイド「むこうし保育園・幼稚園入園情報」（改訂版）1,000部発行 ●子育てガイドブック 概要：妊娠期から子育て期、就学期までの各種手続きや手当等の情報をガイドブックとして作成した。 実績：700部発行。 ●子育て情報誌 概要：子育て支援センターの開設日や講座や親子あそびなどの行事カレンダーを広く子育て世帯（特に乳児がいる家庭）を対象に、毎月情報誌として400部発行。 ●子育て支援拠点事業 概要：子育て中の親子が気軽に行ける身近な場所に、交流や相談ができる拠点を整備することにより、広く子育てで不安の解消や仲間づくりを支援した。（H28…5カ所 H29…7カ所） ●ファミリーサポートセンター 概要：子育てにサポートの必要を感じたときに、サポートを受けたい人（依頼会員）とサポートをしてあげたい人（援助会員）をセンターが繋ぎ、地域の中で子育てを支え合っていく制度。 実績：登録会員数 援助会員155人、依頼会員512人、両方会員28人合計695人（平成30年2月末現在） ●こども食堂 概要：母子会などの任意団体が、ひとり親家庭や孤食のこどもたちの居場所づくりを目的として、フードバンクや学生ボランティアの協力のもと実施しているこども食堂の運営について支援した。	B	●利用者支援事業（基本型）子育て世帯にとっての身近な場所で、幼稚園・保育園や子育て支援事業についての情報提供及び相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施した。 実績：・すくすくガイド「むこうし保育園・幼稚園入園情報」（改訂版）1,000部発行 ・すくすくガイド「むこうし子育て情報」1,000部発行 ●子育てガイドブック 概要：妊娠期から子育て期、就学期までの各種手続きや手当等の情報をガイドブックとして作成した。 見込：700部発行予定。 ●子育て情報誌 概要：子育て支援センターの開設日や講座や親子あそびなどの行事カレンダーを広く子育て世帯（特に乳児がいる家庭）を対象に、毎月情報誌として400部発行。 ●子育て支援拠点事業 概要：子育て中の親子が気軽に行ける身近な場所に、交流や相談ができる拠点を整備することにより、広く子育てで不安の解消や仲間づくりを支援した。（H30…7カ所） ●ファミリーサポートセンター 概要：子育てにサポートの必要を感じたときに、サポートを受けたい人（依頼会員）とサポートをしてあげたい人（援助会員）をセンターが繋ぎ、地域の中で子育てを支え合っていく制度。 実績：登録会員数 援助会員164人、依頼会員523人、両方会員28人 合計715人（平成31年1月末現在） ●こども食堂 概要：母子会などの任意団体が、ひとり親家庭や孤食のこどもたちの居場所づくりを目的として、フードバンクや学生ボランティアの協力のもと実施しているこども食堂の運営について支援した。	B
				●福祉施設の地域への開放や地域住民との交流促進	・老人福祉施設、障がい者施設などをはじめとした福祉施設と地域との交流や連携を深めるため、施設利用者や職員の地域行事への参加をはじめ、施設での行事等に地域住民が参加するなど、施設と地域との相互交流の促進について市として協力を呼びかけます。	7-1	高 齢 介 護 課	地域包括支援センターが中心となり市内の介護サービス事業所等と出前講座などを通じて交流を図り、地域との連携に関する啓発を行った。また、地域密着型サービス事業所が地域住民との交流のための取組を実施した。	B	地域包括支援センターが中心となり市内の介護サービス事業所等と出前講座などを通じて交流を図り、地域との連携に関する啓発を行った。また、地域密着型サービス事業所が地域住民との交流のための取組を実施した。他に、生活支援コーディネーターが調整し、地域住民が福祉施設において、施設利用者も参加できるサークル活動を開始した。	A
						7-2	障 が い 者 支 援 課	●「スポーツのつどい」の開催 概要：障がいがある人・ない人が参加し、各種競技や福祉バザー等を通して交流した。 日時：平成29年10月21日 場所：向日市民体育館 参加者数：約220人 ●子ども交流体験事業「あそびの広場」 概要：障がいのある・なしに関係なく参加できるあそびのブースやクラフトコーナー、ミニ手話コーナーを開催した。 日時：平成29年12月16日 場所：向日市保健センター 参加者数：障がいのある児童とその保護者…2組 障がいのない児童とその保護者…14組 ●啓発クリアファイルの作成・配布 概要：簡単な手話単語をプリントしたクリアファイルを作成し、市内の学校に配布する。	A	●「スポーツのつどい」の開催 概要：障がいがある人・ない人が参加し、各種競技や福祉バザー等を通して交流した。 日時：平成30年10月20日 場所：向日市民体育館 参加者数：約220人 ●子ども交流体験事業「あそびの広場」 概要：障がいのある・なしに関係なく参加できるあそびのブースやクラフトコーナー、ミニ手話コーナーを開催した。 日時：平成30年12月1日 場所：向日市保健センター 参加者数：障がいのある児童とその支援者…2組 障がいのない児童とその保護者…16組 ●啓発クリアファイルの作成・配布 概要：簡単な手話単語をプリントしたクリアファイルを作成し、市内の保育園、幼稚園、小・中学校、高校に配布した。	A
						7-3	子 育 て 支 援 課	●保育施設における地域開放日の情報提供等 あひるが丘保育園、アスク向日保育園、さくらキッズ保育園、華月つばさ保育園、第2保育所、第5保育所、第6保育所で園庭開放、施設開放を毎月実施し、広報誌やホームページで情報提供している。	B	●保育施設における地域開放日の情報提供等 あひるが丘保育園、アスク向日保育園、さくらキッズ保育園、華月つばさ保育園、第5保育所、第6保育所で園庭開放、施設開放を毎月実施し、広報誌やホームページで情報提供している。	B
				●ふれあいサロンへの支援	・公民館や集会所などを拠点として開催されている「ふれあいサロン」は、高齢者の生きがいと介護予防（健康づくり）などのために、参加者同士で企画・運営し、茶話会やレクリエーション等を行います。今後も地域住民による主体的な活動が活発になるよう支援します。【市社協との連携】	8	地 域 福 祉 課	●地域ふれあいのまち推進事業 概要：健康・いきがいつくりの推進につながる事業を行っている団体に補助金を支出し、地域福祉活動を促進した。 実績：①地域配食（会食）活動 補助額550,000円 ②ふれあいサロン活動推進事業 補助額750,000円 ●ふれあいサロン活動助成金の交付（社協） 概要：ふれあいサロン団体を支援するために助成金の申請を受け活動助成金を交付した。 実績：前期19団体（助成金総額299,602円）	B	●地域ふれあいのまち推進事業 概要：健康・いきがいつくりの推進につながる事業を行っている団体に補助金を支出し、地域福祉活動を促進した。 実績：①地域配食（会食）活動 補助額550,000円 ②ふれあいサロン活動推進事業 補助額750,000円 ●地域配食（会食）活動助成（社協） 概要：地区社協が実施する高齢者の見守りや孤立防止を目的とした配食（会食）活動に助成金を交付した。 実績 7団体 500,000円（見込） ●ふれあいサロン活動助成金の交付（社協） 概要：ふれあいサロン団体を支援するために助成金の申請を受け活動助成金を交付した。 実績：前期20団体（助成金総額319,311円）	B

第2期計画（前期計画）			取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管課	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況
	(2)	見守り・支え合い活動の推進	①地域における情報交換・意見交換の場の充実 ・地域の課題だけでなく、地域の魅力についても、住民同士で気軽に話をしたり、その情報交換ができる場を充実します。	●井戸端会議の開催支援 ●ふれあいサロンへの支援	・より多くの人々が地域に関心を持てただけ るよう、向日市民生児童委員連絡協議会の活動 内容についての情報提供や会場の確保などの支 援に努めます。 ・身近な地域で交流できる場「ふれあいサロ ン」の充実・推進に取り組みます。【市社協と の連携】	9	地域福祉課	●「井戸端会議」の開催支援 概要：向日市民生児童委員連絡協議会が主催する当該会議について、地域住民が顔馴染みとなって「つながり」を持つことができるよう、必要な支援を行った。 実績：開催回数15回 延べ参加人数431人	B	●「井戸端会議」の開催支援 概要：向日市民生児童委員連絡協議会が主催する当該会議について、地域住民が顔馴染みとなって「つながり」を持つことができるよう、必要な支援を行った。 実績：開催回数9回 延べ参加人数238人（12月末時点）	B
			②地域における見守りの促進 ・支援を必要とする人が、地域の中で孤立することなく、いきいきと暮らしていけるよう、地域での見守り体制の充実を図ります。 ・閉じこもりがちな人の把握に努めながら、地域で見守る仕組みづくりを地域とともに取り組みます。	●訪問活動等による見守り支援 ●高齢者見守りネットワークの充実	・地域包括支援センターによる訪問などにより、個々の事情に応じた相談を行うとともに必要とされる福祉サービスに結びつけることで、高齢者等を適切に見守り、支援につなげます。 ・高齢者の異変を早期に発見し、必要な支援を行う「高齢者見守りネットワーク」の構築を進めます。	11	高齢介護課	●地域包括支援センターの設置 概要：地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とした地域包括支援センターを3か所設置し、その運営を（福）向日市社会福祉協議会、（福）向陽福祉会、（医）回生会に委託した。また、地域包括ケアシステム推進の中心となる地域包括支援センターでの相談事業や、介護予防ケアマネジメント体制を強化させ、地域包括支援センターが担う役割を充実させるよう、地域包括支援センターの職員体制を3人から4人へ増員した。 実績：相談件数10,000件、ケアプラン作成数4,000件 （平成29年度末見込数）	B	●地域包括支援センターの設置 概要：地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とした地域包括支援センターを3か所設置し、その運営を（福）向日市社会福祉協議会、（福）向陽福祉会、（医）回生会に委託した。相談事業や民生委員との連携等により把握した、見守り支援が必要な人に対し、定期的に訪問を行っている。 実績：相談件数11,000件、訪問件数3,000件 （平成30年度末見込み）	B
				●児童虐待通告窓口の周知	・児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合の近隣者からの通告窓口（市及び児童相談所）について、広報等周知に努めます。	12	高齢介護課	●高齢者見守りネットワークの構築 概要：市、事業者その他の者が連携し、及び協働しつつ、何らかの支援を必要としている高齢者を早期に発見して必要な支援を行う高齢者見守りネットワークの構築に取り組んだ。 実績：協力事業者数10箇所	B	●高齢者見守りネットワークの構築 概要：市、事業者その他の者が連携し、及び協働しつつ、何らかの支援を必要としている高齢者を早期に発見して必要な支援を行う高齢者見守りネットワークの構築に取り組んだ。 実績：協力事業者数10箇所	B
				●福祉活動の支援	・自治会単位でのご近所の顔の見える関係を構築していくために、高齢者世帯のゴミ出しや訪問活動など必要な支援、見守りを行っておられる地域サポーター等と連携を図りながら、地域で支え合う福祉活動を支援します。【市社協との連携】	13	子育て支援課	●通報窓口の周知啓発等 概要：児童虐待の通告窓口について広く周知した。 実績：広報年1回（児童虐待防止強調月間の11月に実施）	B	●通報窓口の周知啓発等 概要：児童虐待の通告窓口について広く周知した。 実績：広報年1回（児童虐待防止強調月間の11月に実施）	B
						14	地域福祉課	●地域サポートセンターむこうの設置（社協） 概要：在宅の引きこもりや認知症の高齢者宅へ週1回訪問し、お話し相手等の支援をした。 実績：新規利用者数4件 利用実人数19人 ゴミ出し新規4件 利用実人数8人 ●ご近所福祉（ゴミ出し支援） 概要：包括や居宅の専門職からの紹介を受けて、ゴミ出しが困難な高齢者宅のゴミ出しを地域住民との協力を得て支援した。 実績：調整件数2件	B	●地域サポートセンターむこうの設置（社協） 概要：在宅の引きこもりや認知症の高齢者宅へ週1回訪問し、お話し相手等の支援をした。 実績：お話し相手 新規9件、利用実人数21人 ごみ出し等 新規5件、利用実人数10人 ●ご近所福祉ごみ出し支援（社協） 概要：包括や居宅の専門職からの紹介を受けて、ごみ出しが困難な高齢者宅のごみ出しを地域住民との協力を得て支援した。 実績：調整件数2件	B
			③地域における生活支援等 ・一人暮らし高齢者や高齢者世帯など、何らかの支援が必要な方を地域で支え合える環境づくりに取り組みます。	●多様な生活支援サービスの構築 ●ご近所福祉活動への支援	・平成29年4月から実施予定の「介護予防・日常生活支援総合事業」への移行に伴い、より多様な生活支援の提供母体として活躍が期待されるボランティアの活動基盤の充実に向け必要な支援に努めます。 ・身近な地域における助け合い活動をさらに活性化するため、引き続き、困ったときに頼りになる隣近所を大切に「ご近所福祉」活動を支援します。【市社協との連携】	15	高齢介護課	●介護予防・日常生活支援総合事業の実施 概要：事業利用者の状態に合ったサービスが利用できるよう、基準を緩和したサービスと住民主体の生活援助サービスを導入し、地域で支えあう体制づくりを図った。 実績：緩和型サービス 2事業所 住民主体型サービス 1事業所	B	●介護予防・日常生活支援総合事業の実施 概要：事業利用者の状態に合ったサービスが利用できるよう、基準を緩和したサービスと住民主体の生活援助サービスを導入し、地域で支えあう体制づくりを図った。 実績：緩和型サービス 2事業所 住民主体型サービス 1事業所	B
						16	地域福祉課	●ご近所福祉懇談会やアクションプランの実施（社協） 概要：ご近所福祉を推進するために地域住民との懇談や認知症・災害等のアクションプランに取組む。 実績：21件 ＜詳細＞ ・懇談会…5か所（沢ノ東＜鶏冠井＞、バリオレシェンテ＜寺戸＞、十ヶ坪＜上植野＞、上植野長寿会、鶏冠井町寿クラブ） ・認知症のアクションプラン 5か所 ・災害のアクションプラン 11か所	B	●ご近所福祉推進の働きかけ（社協） 概要：各区・自治会の新役員が集まる総会時にご近所福祉懇談会の開催を呼び掛ける。 実績：8か所 ●ご近所福祉アクションプランの実施（社協） 概要：認知症や災害をテーマにご近所の助け合い活動を促進するためのワークショップを実施する。 実績：4か所 ●若者の発想を活かした地域づくり（社協） 概要：ご近所福祉のモデル事業として、8～9月の計11日立命館大学のインターンシップで大学生を受入、寺戸大牧自治会において、自治会役員と学生が協働し、これからの地域づくりに向けた取組みした。 ・大牧チルドレン、大牧敬老の日大作戦 実績 103人訪問 ●ご近所福祉推進団体への活動助成（社協） 概要：ラジオ体操等の取組みに対して必要な資材や消耗品（電池）などの実費を助成する。 実績：10団体 10万円見込み	B

第2期計画（前期計画）			取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況
2 地域福祉活動を推進する仕組みの強化											
	(1)	福祉を学び、知る機会の充実	①地域福祉活動に関する啓発・交流の促進 ・地域活動に関する情報の収集、団体や地域福祉活動に関わる魅力を発信するとともに、地域の交流を促進していきます。	●地域福祉に関する情報提供	・広報むこうやホームページにおいて、地域福祉に関する行事、研修会、講演会などの情報提供を行います。	17-1	地域福祉課	●福祉バレットの発行（社協広報誌） 概要：A4版4ページ2色刷り 年3回自治会を通じて各戸配付。社協事業の案内や福祉に関する情報を発信した。 実績：発行回数年3回、約17,000部発行	B	●福祉バレットの発行（社協広報誌） 概要：A4版4ページ2色刷り 年3回自治会を通じて各戸配付。社協事業の案内や福祉に関する情報を発信した。 実績：発行回数年3回、約17,000部発行	B
						17-2	企画広報課	●「広報むこう」の発行 概要：市のさまざまな情報を伝えるため、市内の全世帯および事業所を対象に、広報むこう（A4版フルカラー）を発行し、市の事業、施策の説明、くらしの情報や催しの案内などをお知らせした。 実績：発行回数12回 1回あたり約24,800部発行） ●ホームページの運用 概要：イベントや教室等を掲載し、最新の情報を提供した。 実績：ホームページ月間平均アクセス数（約50,000件）	B	●「広報むこう」の発行 概要：市のさまざまな情報を伝えるため、市内の全世帯および事業所を対象に、広報むこう（A4版フルカラー）を発行し、市の事業、施策の説明、くらしの情報や催しの案内などをお知らせした。 実績：発行回数12回 1回あたり約25,400部発行） ●ホームページの運用 概要：イベントや教室等を掲載し、最新の情報を提供した。 実績：ホームページ月間平均アクセス数（約150,000件）	B
				●イベント等の活用	・向日市まつりなどの全市的なイベントにおいて、地域福祉に関するパネル展示やブースを設置するなど、啓発を行います。 ・市民協働センター「かけはし」の登録団体による活動PRなど、行事や講座等を活用し、地域福祉に関する情報の発信や活動事例の紹介を積極的に行います。	18-1	地域福祉課	●「向日市まつり」への参加（向日市民生児童委員連絡協議会） 概要：向日市民生児童委員連絡協議会が「向日市まつり」の場を活用して行う普及啓発活動について、必要な支援を行った。 開催日：平成29年11月19日	B	●「向日市まつり」への参加（向日市民生児童委員連絡協議会） 概要：向日市民生児童委員連絡協議会が「向日市まつり」の場を活用して行う普及啓発活動について、必要な支援を行った。 開催日：平成30年11月18日	B
						18-2	広聴協働課	●向日市まつりPRブース（相談・展示コーナー） 概要：行政自体、または行政と連携があり地域福祉に関する活動を行う団体が、その活動をPRするための出展場所を提供した。 実績：出展数 6団体（ボランティア、子育て支援、民生児童委員、市民協働センター「かけはし」、シルバー人材センター、フードバンク） ●市民協働センター「かけはし」 概要：向日市まつりPRブースにおいて、「かけはし」登録団体による活動PRを実施した。 実績：参加団体数 8団体	B	●向日市まつりPRブース（相談・展示コーナー） 概要：行政自体、または行政と連携があり地域福祉に関する活動を行う団体が、その活動をPRするための出展場所を提供した。 実績：出展数 8団体（向日市社協ボランティア、民生児童委員、市民協働センター「かけはし」、シルバー人材センター、フードドライブ、向日市身体障がい者協会、向日市ろうあ協会、ピロティ乙訓） ●市民協働センター「かけはし」 概要：向日市まつりPRブースにおいて、「かけはし」登録団体による活動PRを実施した。 実績：参加団体数 7団体	B
				●地域福祉活動に関する理解の促進	・社協まつりなどの交流イベントにより、地域福祉活動への必要性について理解を深め合う取組みを支援します。【市社協との連携】 ・地域で実施する福祉・ボランティア学習の取組みに出前講座の実施や福祉講演会を催し、福祉を学ぶきっかけづくりに取り組みます。【市社協との連携】	19	地域福祉課	●「社協まつり」への参加（向日市民生児童委員連絡協議会） 概要：向日市民生児童委員連絡協議会が「社協まつり」の場を活用して行う普及啓発活動について、必要な支援を行った。 開催日：平成29年11月5日 ●「社協まつり」の開催（社協） 概要：福祉会館にて福祉啓発を目的とした交流企画を実施 実績：対象者…向日市民、参加者2,500人 ●災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施（社協） 概要：災害時に備えた住民との協働を図るための模擬訓練を実施 実績：対象者…住民、参加者102人 ●「イクメンLIFE」の開催（社協） 概要：子育て啓発、桂川イオンにて父親と子どもが遊べる企画を実施 実績：対象者…親子、参加者1,200人	B	●「社協まつり」への参加（向日市民生児童委員連絡協議会） 概要：向日市民生児童委員連絡協議会が「社協まつり」の場を活用して行う普及啓発活動について、必要な支援を行った。 開催日：平成30年11月4日 ●「社協まつり」の開催（社協） 概要：福祉会館にて福祉啓発を目的とした交流企画を実施 実績：対象者…向日市民、参加者2,000人 ●災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施（社協） 平成30年9月15日（土）8時30分～12時（場所：向陽小学校）平成30年台風21号被害のため中止 ●向日市災害ボランティアセンターの設置・運営（社協） 概要：平成30年台風21号被害に伴い、向日市から向日市社協に協定書に基づく要請があり、センターを設置及び運営した。 事前説明会：平成30年9月10日、11日 設置期間：平成30年9月12日～9月17日 向日市役所第1会議室、平成30年9月18日～9月25日 向日市福祉会館（本会事務局対応） 相談件数：25件 支援対応件数：16件 ボランティア活動者数：23人（延べ26人） マッチング回数：18回（継続2回分を含む） ●「イクメンACT」の開催（社協） 概要：子育て啓発、桂川イオンにて父親と子どもが遊べる企画を実施 実績：対象者…親子、参加者1,000人	B

第2期計画（前期計画）				取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所 課	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況
				②要支援者に対する理解の促進 ・福祉や人権に関する学習プログラムの充実を図ります。 ・福祉教育への取組により、高齢者や障がいのある人など要支援者への理解の促進を図ります。	●人権に対する理解の促進	・「第2次向日市人権教育・啓発推進計画」及び「障害者差別解消法」の理念を啓発するとともに、障がい者等に対する差別や偏見、理解の不足、誤解などをなくす心のバリアフリー化の推進に努めます。	20-1	障がい者支援課	●「障害者差別解消法」の普及啓発 ①「広報むこう」に普及啓発記事を掲載した。 平成29年12月号…「障害者週間」に合わせた啓発記事 ②パンフレットの配布・設置 概要：法の趣旨の普及啓発を図るパンフレットを民生児童委員に配布したほか、窓口に設置した。 ●手話言語条例に基づく事業 概要：手話及び手話への理解の普及、さらに、手話の広がりとともに障がいへの理解が広がることを目的に、手話動画の制作や啓発を実施。	A	●「障害者差別解消法」の普及啓発 ①「広報むこう」に普及啓発記事を掲載した。 平成30年12月号…「障害者週間」に合わせた啓発記事 ②パンフレットの配布・設置 概要：法の趣旨の普及啓発を図るパンフレットを民生児童委員に配布したほか、窓口に設置した。 ●手話言語条例に基づく事業 概要：手話及び手話への理解の普及、さらに、手話の広がりとともに障がいへの理解が広がることを目的に、手話マンガの制作や啓発を実施。	A
							20-2	広聴協働課	●人権パネル展の開催 概要：障がい者等に対する差別や偏見、理解の不足、誤解などをなくすため、人権パネル展を開催し、啓発に努めた。また、当日は要約筆者や手話通訳者の配置、優先席の設置、映画上映における副音声等を行い、多様な方々の参加を促した。 実績：平和と人権のつどい 平成29年7月 参加者236人 女と男のいきいきフォーラム 平成29年12月 参加者86人	B	●人権パネル展の開催 概要：LGBT及び障がい者等に対する差別や偏見、理解の不足、誤解などをなくすため、人権パネル展を開催し、啓発に努めた。また、当日は要約筆者や手話通訳者の配置、優先席の設置、映画上映における副音声や字幕の設定を行い、多様な方々の参加を促した。 実績：平和と人権のつどい 平成30年8月 参加者240人 女と男のいきいきフォーラム 平成30年12月 参加者242人	B
					●小・中学校における福祉学習	・福祉や人権に関する学習プログラムの取組により、自尊心の向上や思いやりの心を育む学習・教育の機会の充実を図ります。	21	学校教育課	●認知症サポーター養成講座の開催 概要：小中学校で、認知症の正しい理解と認知症の方への支援について、外部講師を迎え、具体的に学んだ。 実績：各1回（勝山中学校1年生、向陽小学校・第2向陽小学校4年生）（平成29年度） ※小学校では授業参観時に実施し、保護者等も参加した。 ※勝山中では、「見守り訓練」として、地域へ学習した内容の成果を波及する取組も行った。 ●職場体験活動の実施 概要：豊かな人間性や社会性の育成を図るため、中学2年生を対象に各事業所で仕事の体験を行った。 実績：市内3中学校の2年全員 ※11事業所に分かれ、4日間程度の職場体験を実施。	B	●全小中学校において、人権学習の実施（参観授業により保護者等にも啓発） ●認知症サポーター養成講座の開催 概要：小中学校で、認知症の正しい理解と認知症の方への支援について、外部講師を迎え、具体的に学んだ。 実績：各1回（勝山中学校1年生、向陽小学校・第2向陽小学校4年生）（平成30年度末見込み数） ※小学校では授業参観時に実施し、保護者等も参加。 ※勝山中では、「見守り訓練」として、地域へ学習した内容の成果を波及する取組を実施。 ●職場体験活動の実施 概要：豊かな人間性や社会性の育成を図るため、中学2年生を対象に各事業所で仕事の体験を行った。 実績：市内3中学校の2年全員 ※9事業所に分かれ、4日間の職場体験を実施。	B
									●認知症サポーター養成講座の開催 概要：地域住民、市内の生活関連企業・団体等を対象に、認知症の方とその家族を支援する認知症サポーターを養成することを目的に、認知症サポーター養成講座の開催した。 実績：実施回数12回、養成人数775人（平成29年度末見込数） ●徘徊模擬訓練 概要：認知症等で行方不明になるおそれのある市民が安心して暮らしつづけることができる地域づくりを広域で進めることを目的に、向日市内での徘徊模擬訓練及び、京都府、乙訓2市1町、鉄道機関等交通機関も交えた広域搜索模擬訓練を実施 実績：京都府・乙訓広域搜索模擬訓練 10月4日 向日市内地区別徘徊模擬訓練 11月8日・22日	A	●認知症サポーター養成講座の開催 概要：地域住民、市内の生活関連企業・団体等を対象に、認知症の方とその家族を支援する認知症サポーターを養成することを目的に、認知症サポーター養成講座の開催した。 実績：実施回数11回、養成人数680人（平成30年度末見込数） ●徘徊模擬訓練 概要：認知症等で行方不明になるおそれのある市民が安心して暮らしつづけることができる地域づくりを広域で進めることを目的に、向日市内での徘徊模擬訓練を行った。 実績：向日市内地区別徘徊模擬訓練 11月7日	A
				●認知症に対する理解の促進	●認知症に対する理解の促進	・地域での理解者や支援者を増やし、認知症になっても安心して暮らしていける地域づくりに取り組むため、認知症サポーター養成講座を引き続き開催します。 ・認知症支援に対する理解を深め、正しい知識を習得するため、幅広い世代に対して徘徊模擬訓練への参加を促進します。 ・認知症を発症した場合に必要な介護サービスが適切に受けられるよう、医療や介護サービスの提供の流れを示した冊子（認知症ケアパス）を配布しています。	22	高齢介護課	●認知症サポーター養成講座の開催 概要：地域住民、市内の生活関連企業・団体等を対象に、認知症の方とその家族を支援する認知症サポーターを養成することを目的に、認知症サポーター養成講座の開催した。 実績：実施回数12回、養成人数775人（平成29年度末見込数） ●徘徊模擬訓練 概要：認知症等で行方不明になるおそれのある市民が安心して暮らしつづけることができる地域づくりを広域で進めることを目的に、向日市内での徘徊模擬訓練及び、京都府、乙訓2市1町、鉄道機関等交通機関も交えた広域搜索模擬訓練を実施 実績：京都府・乙訓広域搜索模擬訓練 10月4日 向日市内地区別徘徊模擬訓練 11月8日・22日	A	●認知症サポーター養成講座の開催 概要：地域住民、市内の生活関連企業・団体等を対象に、認知症の方とその家族を支援する認知症サポーターを養成することを目的に、認知症サポーター養成講座の開催した。 実績：実施回数11回、養成人数680人（平成30年度末見込数） ●徘徊模擬訓練 概要：認知症等で行方不明になるおそれのある市民が安心して暮らしつづけることができる地域づくりを広域で進めることを目的に、向日市内での徘徊模擬訓練を行った。 実績：向日市内地区別徘徊模擬訓練 11月7日	A
									●認知症サポーター養成講座の開催 概要：地域住民、市内の生活関連企業・団体等を対象に、認知症の方とその家族を支援する認知症サポーターを養成することを目的に、認知症サポーター養成講座の開催した。 実績：実施回数12回、養成人数775人（平成29年度末見込数） ●徘徊模擬訓練 概要：認知症等で行方不明になるおそれのある市民が安心して暮らしつづけることができる地域づくりを広域で進めることを目的に、向日市内での徘徊模擬訓練及び、京都府、乙訓2市1町、鉄道機関等交通機関も交えた広域搜索模擬訓練を実施 実績：京都府・乙訓広域搜索模擬訓練 10月4日 向日市内地区別徘徊模擬訓練 11月8日・22日	A	●認知症サポーター養成講座の開催 概要：地域住民、市内の生活関連企業・団体等を対象に、認知症の方とその家族を支援する認知症サポーターを養成することを目的に、認知症サポーター養成講座の開催した。 実績：実施回数11回、養成人数680人（平成30年度末見込数） ●徘徊模擬訓練 概要：認知症等で行方不明になるおそれのある市民が安心して暮らしつづけることができる地域づくりを広域で進めることを目的に、向日市内での徘徊模擬訓練を行った。 実績：向日市内地区別徘徊模擬訓練 11月7日	A
				●見守り活動の促進	●見守り活動の促進	・認知症の高齢者の徘徊時など、支援が必要ときに迅速に対応できるよう、地域住民による見守り活動や市社協など関係機関との連携体制の確立に努めます。【市社協との連携】	23-1	地域福祉課	●民生児童委員による見守り活動の実施 概要：ひとり暮らし高齢者や要配慮者等、見守りが必要な家庭に対して随時の訪問活動を実施し、安否確認や孤立防止を図った。 実績：延べ約7,500人 ●地域支えあいワークショップの開催（社協） 概要：市内事業所や民生児童委員、関係機関と認知症声掛け訓練を実施して、認知症の啓発を行った。また事業所の地域貢献について、意見交換を行った。 対象：東向日駅前周辺の事業所など 参加事業所：15事業所	B	●民生児童委員による見守り活動の実施 概要：ひとり暮らし高齢者や要配慮者等、見守りが必要な家庭に対して随時の訪問活動を実施し、安否確認や孤立防止を図った。 実績：延べ約7,500人 ●地域支えあいワークショップの開催（社協） 概要：市内事業所や民生児童委員、関係機関と地域貢献活動の実践を共有し、これからの地域づくりについて話し合った。 対象：東向日駅前周辺の事業所など 参加事業所：15事業所他、26名 ●東向日いきいきまつり（社協） 概要：事業所有志や地域福祉関係者が協働して市民向けのお祭りを実施する。（健康チェック、メガネの洗浄、介護相談、悪徳商法防止の啓発など） 日時：3月下旬（予定） 実績：市民200名（見込）	B
							23-2	高齢介護課	●徘徊対策 概要：認知症高齢者の事前登録及び関係機関等との連絡体制を確立することにより、行方不明となった認知症高齢者を早期発見し、本人の生命・身体の安全確保と家族の支援を行う見守りSOSネットワークの事務局を平成29年1月に本市へ移行し、ネットワークの強化を図った。 実績（平成29年度末見込数）：登録者数50人、協力事業者数100	B	●徘徊対策 概要：認知症高齢者の事前登録及び関係機関等との連絡体制を確立することにより、行方不明となった認知症高齢者を早期発見し、本人の生命・身体の安全確保と家族の支援を行う見守りSOSネットワークの強化を図った。 実績（平成30年度末見込数）：登録者数80人、協力事業者数100	B
									●徘徊対策 概要：認知症高齢者の事前登録及び関係機関等との連絡体制を確立することにより、行方不明となった認知症高齢者を早期発見し、本人の生命・身体の安全確保と家族の支援を行う見守りSOSネットワークの強化を図った。 実績（平成30年度末見込数）：登録者数80人、協力事業者数100	B	●徘徊対策 概要：認知症高齢者の事前登録及び関係機関等との連絡体制を確立することにより、行方不明となった認知症高齢者を早期発見し、本人の生命・身体の安全確保と家族の支援を行う見守りSOSネットワークの強化を図った。 実績（平成30年度末見込数）：登録者数80人、協力事業者数100	B
									●徘徊対策 概要：認知症高齢者の事前登録及び関係機関等との連絡体制を確立することにより、行方不明となった認知症高齢者を早期発見し、本人の生命・身体の安全確保と家族の支援を行う見守りSOSネットワークの強化を図った。 実績（平成30年度末見込数）：登録者数80人、協力事業者数100	B	●徘徊対策 概要：認知症高齢者の事前登録及び関係機関等との連絡体制を確立することにより、行方不明となった認知症高齢者を早期発見し、本人の生命・身体の安全確保と家族の支援を行う見守りSOSネットワークの強化を図った。 実績（平成30年度末見込数）：登録者数80人、協力事業者数100	B

第2期計画（前期計画）		取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管課	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況
(2)	地域活動・ボランティア活動の充実	①ボランティアや地域活動への参加の促進 ・市の「市民協働センター」や市社協の「ボランティア活動センター」等により、現在行われている活動の継続・発展を支援します。また、市民がボランティア活動などに気軽に参加したり、 活動内容を知ることのできる機会を設けます。	●市民協働センターによる取組み	・市民との協働によるまちづくりを推進するため、活動支援講座や登録団体の交流やミーティング場所の提供などにより、活動団体間の情報交換や交流の促進に取り組みます。	24	広聴協働課	●市民協働センター「かけはし」 概要：協働による活力あるまちづくりを推進するため、市民公益活動を行う団体（NPO法人・ボランティア団体・自治会・町内会など）や個人を支援し、活動場所や印刷機等の機器を提供した。また、「かけはし」登録団体による交流会を実施した。 対象者：市内在住・在勤・在学する個人又は団体であって、市民公益活動を行う、又は行おうとする者等 実績：登録団体数 51団体（平成30年1月31日現在） 活動場所等の提供 年392回（平成29年4月～平成30年1月） 「かけはし」登録団体による交流会の開催 年2回	B	●市民協働センター「かけはし」 概要：協働による活力あるまちづくりを推進するため、市民公益活動を行う団体（NPO法人・ボランティア団体・自治会・町内会など）や個人を支援し、活動場所や印刷機等の機器を提供した。また、「かけはし」登録団体による交流会や活動支援のための講座を実施した。 対象者：市内在住・在勤・在学する個人又は団体であって、市民公益活動を行う、又は行おうとする者等 登録団体数：44団体（平成31年1月31日現在） かけはし登録団体による交流会の開催：年2回 かけはし講座：年1回	B
			●ファミリーサポートセンターの相互援助活動の推進	・子育てに関し援助を行いたい会員（援助会員）を養成し、地域での子育ての支援を必要とする会員（依頼会員）との相互援助活動を推進します。	25	子育て支援課	●ファミリーサポートセンター 子育てにサポートの必要を感じたときに、サポートを受けたい人（依頼会員）とサポートをしてあげたい人（援助会員）をセンターが繋ぎ、地域の中で子育てを支え合っていく制度。 実績：登録会員数 援助会員155人、依頼会員512人、両方会員28人 合計695人（平成30年2月末現在）	B	●ファミリーサポートセンター 子育てにサポートの必要を感じたときに、サポートを受けたい人（依頼会員）とサポートをしてあげたい人（援助会員）をセンターが繋ぎ、地域の中で子育てを支え合っていく制度。 実績：登録会員数 援助会員164人、依頼会員523人、両方会員28人 合計715人（平成31年1月末現在）	B
			●ボランティア活動センターへの支援	・ボランティアや地域活動への参加を促進するため、ボランティア活動センターにおける各種講座の開催などを支援します。【市社協との連携】	26	地域福祉課	●点訳ボランティア講座の開催（社協） 概要：点訳ボランティアの養成 講師：点訳サークルきつつき 参加者：5人 ●音訳ボランティア養成講座（社協） 概要：視覚障がい者への情報提供のための音訳ボランティアの養成 講師：フリーアナウンサー 音訳指導者 安田知博さん 参加者：23人 ●災害ボランティア活動研修会（社協） 概要：地域での災害への備えについて啓発するために実施 講師：京都大学防災研究所 地震予知研究センター 准教授 片尾浩さん 対象者：市民及び関係者、参加者：50人 ●シニアライフの楽しみ方講座（社協） ※3月14日開催予定 概要：「むこうシニア」の楽しみ方講座 講師：田川雅規さん（あそびの工房もくもく屋事務局長） 対象者：市民	B	●点訳ボランティア講座の開催（社協） 概要：点訳ボランティアの養成 講師：点訳サークルきつつき 参加者：3人 ●音訳ボランティア養成講座（社協） 概要：視覚障がい者への情報提供のための音訳ボランティアの養成 講師：フリーアナウンサー 音訳指導者 安田知博さん 参加者：23人 ●向日市災害ボランティアセンター研修会（社協） 概要：災害ボランティア活動に取り組むきっかけづくりとして実施 講師：福知山ママボランティアLINK 副代表 足立喜代美さん他 京都災ボラバンク縁 世話人 江頭孝博さん 参加者：25人 ●むこうシニアの未来いきいき講座（社協） ※2019年3月13日開催 概要：向日市内のシニア層を対象に地域交流、ボランティア活動のきっかけづくりとして実施。 講師：田川雅規さん（あそびの工房もくもく屋） 対象者：市民 参加者：41人	B
		②地域福祉活動の人材の発掘 ・活動に意欲・関心を持ちながらも実践に結びついていない、潜在的な地域福祉活動の担い手を掘り起こし、活動につなげるために、講習会や研修会等を通じて活動への参加を呼びかけます。また、地域福祉活動の中心的な役割を担うリーダーやキーパーソンの発掘などに努めます。	●リーダーや担い手の育成	・講習会や研修会等を通じ、活動の中心的な役割を担うリーダーの育成を進めます。 ・子育て経験や日曜大工、園芸など経験や特技を生かした活動を担う指導者の発掘や、福祉活動に関心をもつ市民のスキルアップなどを図り、新たな担い手の確保を進めます。	27	地域福祉課	●シルバー人材センター運営助成 概要：60歳以上の高齢者に臨時的・短期的な仕事を提供し、生きがいを高め、社会参加を促進するため、向日市シルバー人材センターへの運営助成を行った。 実績：運営助成等補助金 6,250,000円 会員数 男性275人 女性87人（平成30年1月末）	B	●シルバー人材センター運営助成 概要：60歳以上の高齢者に臨時的・短期的な仕事を提供し、生きがいを高め、社会参加を促進するため、向日市シルバー人材センターへの運営助成を行った。 実績：運営助成等補助金 7,133,000円 会員数 男性280人 女性93人（平成31年1月末）	B
			●ボランティア登録の促進	・ボランティア活動の裾野を広げるため、様々な分野のボランティア登録の促進を支援します。【市社協との連携】	28	地域福祉課	●向日市社協ボランティアセンター（社協） 登録状況：団体登録18団体 個人登録29人	B	●向日市社協ボランティアセンター（社協） 登録状況：団体登録19団体 個人登録38人	B

第2期計画（前期計画）			取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管課	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況
			③地域活動拠点の確保 ・地域のサロン活動やボランティア活動の場として、身近な地域で集まることのできる場所の確保を求める声があります。今後もボランティア活動が円滑に行われるよう地域活動拠点の確保に向け支援を行います。	●地域活動拠点の確保	・活動場所として、地区公民館・コミュニティセンターに加え、福祉会館内の福祉団体活動拠点を充実させ、利用しやすい環境づくりに努めます。 ・ボランティア団体やNPO等の活動を促進するため、福祉会館の会議室等を活動の場として有効に活用できるよう支援します。【市社協との連携】	29-1	地域福祉課	●福祉会館会議室等の貸出 概要：ボランティア団体やNPO等の活動を促進するため、福祉会館の会議室等を活動の場として有効に活用できるよう支援した。 実績：大会議室 246件 8,765人 研修室 223件 4,580人 機能訓練室 242件 6,807人 ●福祉会館内の福祉団体活動拠点（社協） 概要：福祉団体の活動拠点として部屋を貸し出した。 実績：年間延べ貸出件数104件（1月末現在） ●ボランティアルームの利用状況（社協） 概要：ボランティアセンターに登録するグループにボランティアルームを貸し出した。 実績：年間延べ貸出件数200件見込み	B	●福祉会館会議室等の貸出（社協） 概要：ボランティア団体やNPO等の活動を促進するため、福祉会館の会議室等を活動の場として有効に活用できるよう支援した。 実績：大会議室 246件 8,765人 研修室 223件 4,580人 機能訓練室 242件 6,807人 ●福祉会館内の福祉団体活動拠点（社協） 概要：福祉団体の活動拠点として部屋を貸し出した。 実績：年間延べ貸出件数104件（1月末現在） ●ボランティアルームの利用状況（社協） 概要：ボランティアセンターに登録するグループにボランティアルームを貸し出した。 実績：年間延べ貸出件数200件見込み	B
						29-2	セ ン タ ー 福 祉 課	●サークル活動の実施 概要：センター利用者が、サークルや同好会を作り自主的に活動 実績：「桜の径」34団体625人 「琴の橋」30団体595人 サークル・同好会の舞台発表会、作品展、交流会の実施（9月・10月「桜の径」「琴の橋」にて）	B	●サークル活動の実施 概要：センター利用者が、サークルや同好会を作り自主的に活動 実績：「桜の径」35団体626人 「琴の橋」30団体578人 サークル・同好会の舞台発表会、作品展、交流会の実施（9月・10月「桜の径」「琴の橋」にて）	B
						29-3	総務課	●コミセン 概要：市民の生活及び文化の向上と市民の連帯によるコミュニティの創造のため、集会、対話、各種サークル活動及び自治会活動等の自主的活動の場を提供する。 実績：設置数 6館 登録サークル数 190（平成30年1月31日現在） 利用人数 41,396人（平成30年1月31日現在）	C	●コミュニティセンター 概要：市民の生活及び文化の向上と市民の連帯によるコミュニティの創造のため、集会、対話、各種サークル活動及び自治会活動等の自主的活動の場を提供する。活動の場となるコミュニティセンターの施設整備を行った。 実績：設置数 6館 登録サークル数 185（平成31年1月31日現在） 利用人数 40,371人（平成31年1月31日現在）	B
	(3) 地域福祉活動団体と行政との横のつながりの強化		①地域福祉活動団体等の連携の支援 ・自治会や福祉活動団体など、地域でのそれぞれの活動や 課題を知り、情報交換し合える場を構築します。 ・民生委員・児童委員などの地域福祉活動者や、自治会、老人クラブなどの活動団体間の交流や情報交換などの連携を支援します。	●地域福祉懇談会の開催	・各種団体とともに地域課題について話し合う懇談会の場の充実を支援します。 ・小地域福祉活動を推進するため、自治会を単位とした懇談会を開催し、各種団体と地域福祉をテーマに意見交換を行います。	30	地域福祉課	●地域福祉懇談会の開催 概要：地域での課題を共有し、情報交換できる場を支援する。 実績：2月24日開催（物集女地区）参加者23人	B	●地域福祉懇談会の開催 概要：地域での課題を共有し、情報交換できる場を支援する。 実績：2月9日開催（森本地区）参加者21人 2月16日開催（向日地区）参加者18人	B
				●民生委員・児童委員活動の支援	・民生委員・児童委員による相談支援活動の充実を図ります。 ・ボランティアセンターに登録している団体などと連携し情報交換を図ります。	31	地域福祉課	●向日市民生児童委員連絡協議会 ①民生委員・児童委員活動費補助金 概要：民生委員・児童委員による地域福祉活動や研修等の促進を図るため、同会に補助金を交付した。 実績： 84人 7,789,000円 ②地域福祉活動促進事業等補助金 概要：民生委員・児童委員による地域福祉活動事業等の促進を図るため、同会に補助金を交付した。 実績：1,771,420円 ③定例会及び研修会の実施 概要：地域課題や活動状況の共有、相談援助技術の向上を目的に当該会議を実施した。 実績：定例会5回 研修会3回	B	●向日市民生児童委員連絡協議会 ①民生委員・児童委員活動費補助金 概要：民生委員・児童委員による地域福祉活動や研修等の促進を図るため、同会に補助金を交付した。 実績： 84人 7,980,000円 ②地域福祉活動促進事業等補助金 概要：民生委員・児童委員による地域福祉活動事業等の促進を図るため、同会に補助金を交付した。 実績：1,556,820円 ③定例会及び研修会の実施 概要：地域課題や活動状況の共有、相談援助技術の向上を目的に当該会議を実施した。 実績：定例会5回 研修会5回	B

第 2 期計画（前期計画）		取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況				
		②地域包括ケアシステムの構築 ・支援が必要な高齢者などが、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう地域全体で支える地域包括ケアシステムの実現を目指します。	●地域ケア会議の開催	・医療・保健・介護・福祉等の関係機関、警察等の多職種連携による地域ケア会議の充実を図ります。 ・民生委員・児童委員、老人クラブ、ボランティア団体、地域住民による見守り・支え合いの取組みなど各活動団体の連携を強化します。	32-1	地域福祉課	●民生児童委員による見守り活動の実施【再掲】 概要：ひとり暮らし高齢者や要配慮者等、見守りが必要な家庭に対して随時の訪問活動を実施し、安否確認や孤立防止を図った。 実績：延べ約7,500人	B	●民生児童委員による見守り活動の実施【再掲】 概要：ひとり暮らし高齢者や要配慮者等、見守りが必要な家庭に対して随時の訪問活動を実施し、安否確認や孤立防止を図った。 実績：延べ約7,500人	B				
					32-2	高齢介護課	●地域ケア会議の開催 概要：地域包括支援センターが主となり多職種協働のもと、フォーマルのみならずインフォーマルな資源やサービスも活用しながら、個別ケースの支援内容の検討を行う地域ケア会議と、その積み重ねを通し関係者の課題解決能力の向上や地域包括支援ネットワークを構築するための地域包括ケア会議を実施した。 実績：地域ケア会議20回、地域包括ケア会議 2 回（平成29年度末見込数） ●老人クラブ事業補助 概要：向日市老人クラブ連合会を中心に、スポーツ・レクリエーションを通して会員相互の親睦と健康づくりに努めるとともに、友愛訪問や公園の清掃などの奉仕活動を老人クラブへの補助金。クラブ数27、会員数約1,210人 実績：2,434,000円（平成29年度老人クラブ連合会事業補助金見込額）	B	●地域ケア会議の開催 概要：地域包括支援センターが主となり多職種協働のもと、フォーマルのみならずインフォーマルな資源やサービスも活用しながら、個別ケースの支援内容の検討を行う地域ケア会議と、その積み重ねを通し関係者の課題解決能力の向上や地域包括支援ネットワークを構築するための地域包括ケア会議を実施した。 実績：地域ケア会議36回、地域包括ケア会議 2 回（平成30年度末見込数） ●老人クラブ事業補助 概要：向日市老人クラブ連合会を中心に、スポーツ・レクリエーションを通して会員相互の親睦と健康づくりに努めるとともに、友愛訪問や公園の清掃などの奉仕活動を老人クラブへの補助金。クラブ数27、会員数約1,170人 実績：2,426,400円（平成30年度老人クラブ連合会事業補助金見込額）	A				
					32-3	老人福祉課	●老人クラブ事業補助 概要：向日市老人クラブ連合会を中心に、スポーツ・レクリエーションを通して会員相互の親睦と健康作りに努めるとともに、友愛訪問や公園清掃などの奉仕活動も行った。 単位クラブ数27、会員数約1,197人 実績：2,434,000円（平成29年度老人クラブ連合会事業補助金）	B	●老人クラブ事業補助 概要：向日市老人クラブ連合会を中心に、スポーツ・レクリエーションを通して会員相互の親睦と健康作りに努めるとともに、友愛訪問や公園清掃などの奉仕活動も行った。 単位クラブ数27、会員数約1,178人 実績：2,426,400円（平成29年度老人クラブ連合会事業補助金）	B				
			●高齢者見守りネットワークづくり	・今後も民間事業者と見守りに関する協定を締結し、ネットワークの充実に努めます。	33	高齢介護課	●高齢者見守りネットワーク 概要：市、事業者その他の者が連携し、及び協働しつつ、何らかの支援を必要としている高齢者を早期に発見して必要な支援を行う高齢者見守りネットワークの構築に取り組んだ。 実績：協力事業者数10箇所（平成29年度末現在）	B	●高齢者見守りネットワーク 概要：市、事業者その他の者が連携し、及び協働しつつ、何らかの支援を必要としている高齢者を早期に発見して必要な支援を行う高齢者見守りネットワークの構築に取り組んだ。 実績：協力事業者数10箇所（平成30年度末現在	B				
			●民生委員・児童委員との連携	・高齢者の孤立防止や安否確認などを目的に、定期的な見守り活動を市社協や民生委員・児童委員と連携して取り組みます。	34-1	地域福祉課	●民生児童委員による見守り活動の実施【再掲】 概要：ひとり暮らし高齢者や要配慮者等、見守りが必要な家庭に対して随時の訪問活動を実施し、安否確認や孤立防止を図った。 実績：延べ約7,500人	B	●民生児童委員による見守り活動の実施【再掲】 概要：ひとり暮らし高齢者や要配慮者等、見守りが必要な家庭に対して随時の訪問活動を実施し、安否確認や孤立防止を図った。 実績：延べ約7,500人	B				
					34-2	高齢介護課	●ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯台帳の整備 概要：65歳以上のひとり暮らし世帯及び高齢者世帯を把握するため、民生委員の協力を得て、訪問による実態調査を行い、台帳を作成し、高齢者の孤立防止や安否確認などに活用している。 実態把握数：ひとり暮らし高齢者2,792人、高齢者世帯2,813世帯	B	●ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯台帳の整備 概要：65歳以上のひとり暮らし世帯及び高齢者世帯を把握するため、民生委員の協力を得て、訪問による実態調査を行い、台帳を作成し、高齢者の孤立防止や安否確認などに活用している。 実態把握数：ひとり暮らし高齢者2,576人、高齢者世帯2,864世帯	B				
			3 一人ひとりに合った適切なサービス利用の促進											
				(1)	必要な情報が手元に届く仕組みづくり	①伝わりやすさに配慮した情報提供 ・年齢や障がい特性など受け手に合わせた情報提供を行います。	●様々な媒体を活用した情報発信 ●見やすいホームページの作成	35		各課において、情報の受け手に合わせた情報発信を実施している。	B	各課において、情報の受け手に合わせた情報発信を実施している。	B	
							●地域福祉活動の情報提供		36	企画広報課	●ホームページ 音声読み上げソフト等を利用しアクセシビリティに対応したホームページで、福祉の最新情報を掲載した。	B	●ホームページ 音声読み上げソフト等を利用しアクセシビリティに対応し、障がい者向けの閲覧用ソフトウェアの導入したホームページで、福祉の最新情報を掲載した。	A
							●地域福祉活動の情報提供	・市民の自発的な福祉活動に対する学習機会の提供や情報提供を行います。	37	地域福祉課	●福祉バレットの発行（社協広報誌） 概要：A4版 4 ページ 2 色刷り 年 3 回自治会を通じて各戸配付。社協事業の案内や福祉に関する情報を発信した。 実績：発行回数年3回、約17,000部発行	B	●福祉バレットの発行（社協広報誌） 概要：A4版 4 ページ 2 色刷り 年 3 回自治会を通じて各戸配付。社協事業の案内や福祉に関する情報を発信した。 実績：発行回数年3回、約17,000部発行	B
●コミュニケーション支援の充実	・手話表現や要約筆記技術の修得者の養成、派遣等により、意思疎通を図ることに支障がある人に対し、自立した日常生活の手助けができるよう支援します。 ・意思の疎通が困難な重度障がい者が入院した場合に、支援員を医療機関等に派遣し、入院時の意思疎通を支援します。	38					障がい者支援課	●手話通訳者の派遣 概要：手話通訳を必要とする市民、また関係者からの依頼に応じて、手話通訳者を派遣した。 実績：762件（うち職員638件 登録124件）を派遣 ※平成28年度 ●要約筆記者の派遣 概要：要約筆記を必要とする市民、また関係者からの依頼に応じて、要約筆記者を派遣した。 実績：130 件（うち職員1件 登録129件）を派遣 ※平成28年度	A	●手話通訳者の派遣 概要：手話通訳を必要とする市民、また関係者からの依頼に応じて、手話通訳者を派遣した。 実績：616件（うち職員502件 登録114件）を派遣 ※平成29年度 ●要約筆記者の派遣 概要：要約筆記を必要とする市民、また関係者からの依頼に応じて、要約筆記者を派遣した。 実績：136 件（うち職員1件 登録135件）を派遣 ※平成29年度 ●向日市重度障がい児者入院時コミュニケーション支援事業 概要：入院時に医療従事者との意思疎通を十分に図ることができない場合に、本人との意思疎通に熟達した指定障害福祉サービス事業者の従業者を医療機関にコミュニケーション支援員として派遣した。	A			

第2期計画（前期計画）		取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管課	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況
(2)	関係機関の連携強化による相談支援の充実	①相談窓口の周知・民生委員・児童委員の役割等をはじめ、各相談窓口の情報についての周知を図ります。	●民生委員・児童委員の周知	・地区の民生委員・児童委員をその地区に住む皆さまに知っていただき、活動への理解を深められるよう、広報むこうやホームページにおいて民生委員・児童委員の氏名等を掲載し周知に努めます。	39	地域福祉課	●民生児童委員の周知・啓発の実施 本市ホームページに、民生児童委員の項を開設し掲載。 向日市まつりににおいて、向日市の民生児童委員、主任児童委員の担当地区及び氏名を記載した名簿を来場者に配布した。	B	●民生児童委員の周知・啓発の実施 本市ホームページに、民生児童委員の項を開設し掲載。 向日市まつりににおいて、向日市の民生児童委員、主任児童委員の担当地区及び氏名を記載した名簿を来場者に配布した。	B
			●地域包括支援センターにおける相談	・高齢者やその家族が安心して必要なサービスを利用できるよう、地域包括支援センターにおいて、主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士による相談を行い、適切なサービスの提供に結びつけます。	40	高齢介護課	●地域包括支援センターの設置 概要：地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とした地域包括支援センターを3か所設置し、その運営を（福）向日市社会福祉協議会、（福）向陽福祉会、（医）回生会に委託した。また、地域包括ケアシステム推進の中心となる地域包括支援センターでの相談事業や、介護予防ケアマネジメント体制を強化させ、地域包括支援センターが担う役割を充実させるよう、地域包括支援センターの職員体制を3人から4人へ増員した。 実績：相談件数10,000件、ケアプラン作成数4,000件（平成29年度末見込数）	B	●地域包括支援センターの設置 概要：地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とした地域包括支援センターを3か所設置し、その運営を（福）向日市社会福祉協議会、（福）向陽福祉会、（医）回生会に委託した。 相談事業や民生委員との連携等により把握した、見守り支援が必要な人に対し、定期的に訪問を行っている。 実績：相談件数11,000件、訪問件数3,000件（平成30年度末見込み）	B
			●子育てコンシェルジュによる相談	・妊娠届出や転入された時に、保健師等が面接し、妊娠・出産・子育てに関する心配や不安をお聞きし、個々のニーズに応じたサービスを紹介する子育てコンシェルジュ（子育て総合相談窓口）を開設します。	41	健康推進課	●子育てコンシェルジュにおける相談実績（12月末現在） 妊婦 439人（うち転入妊婦46人） 妊・産婦相談 170人 転入児 148人 乳幼児相談 102人 【総相談件数：859人】 相談実績は、昨年度より増える見込み。	A	●子育てコンシェルジュにおける相談実績（12月末現在） 妊婦 396人（うち転入妊婦36人） 妊・産婦相談 239人 転入児 157人 乳幼児相談 180人 【総相談件数：973人】 相談実績は、昨年度より増えている。	A
			●子育て世帯の相談窓口の充実	・家庭における子どもの養育やしつけなどの様々な悩みを抱える保護者や子ども自身等が気軽に相談できるように、家庭児童相談室、子育てセンター等の相談窓口の充実に努めます。 ・広報むこうの子育て支援情報コーナー等による情報発信を行うなど効果的な周知に努めます。 ・妊娠中の方や保護者が、地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、利用者支援事業の利用促進に努めます。	42	子育て支援課	●家庭児童相談室、子育てセンター等 概要：家庭児童相談室、子育てセンター、NPOによる地域子育て支援拠点において、専門職による子育てや子どもの発達に関する悩みなどの相談を実施した	B	●家庭児童相談室、子育てセンター等 概要：家庭児童相談室、子育てセンター、NPOによる地域子育て支援拠点において、専門職による子育てや子どもの発達に関する悩みなどの相談を実施した	B
			●障がい者地域生活支援センターにおける相談	・障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むために、必要な情報の提供及び助言その他障がい福祉サービスの利用支援等、相談支援に努めます。	43	障がい者支援課	●「障がい者地域生活支援センター」の設置 概要：向日市在住で障がいのある方やそのご家族に対して、福祉サービス等の紹介、就学・就労・生活上の悩みなど、障がい福祉に関する総合相談を行った。 実績：乙訓管内の6箇所に事業委託	A	●「障がい者地域生活支援センター」の設置 概要：向日市在住で障がいのある方やそのご家族に対して、福祉サービス等の紹介、就学・就労・生活上の悩みなど、障がい福祉に関する総合相談を行った。 実績：乙訓管内の6箇所に事業委託	A
			●生活困窮における相談	・生活困窮者の自立を支援するためハローワークと連携した就労支援や住宅確保給付金などの生活困窮に関する相談事業を推進します。【市社協との連携】	44	地域福祉課	●生活困窮者自立支援事業 概要：生活困窮者自立支援法が平成27年4月から施行されたことに伴い、生活保護に至るまでの生活困窮者に対する自立支援施策として、自立相談支援事業、就労準備支援事業、住宅確保給付金事業を実施した。 実績：①生活困窮者自立相談支援事業（向日市社協に委託） 相談件数 120件（見込み） ②住宅確保給付金 0件 金額 0円 ●くらしの資金貸付事業 概要：夏期及び冬期に生活の不安定な世帯に対し、くらしに必要な資金を1世帯10万円を限度として貸付けを行った。（向日市社会福祉協議会に業務を委託） 実績：①夏期 1件 100,000円 ②冬期 3件 300,000円 ●生活困窮者自立相談支援の実施（社協） 新規相談件数 120件（見込） プラン作成件数 20件（見込）	B	●生活困窮者自立支援事業（社協） 概要：生活困窮者自立支援法が平成27年4月から施行されたことに伴い、生活保護に至るまでの生活困窮者に対する自立支援施策として、自立相談支援事業、就労準備支援事業、住宅確保給付金事業を実施した。 実績：①生活困窮者自立相談支援事業（向日市社協に委託） 相談件数 72件（12月末付） ②住宅確保給付金 0件 金額 0円 ●くらしの資金貸付事業（社協） 概要：夏期及び冬期に生活の不安定な世帯に対し、くらしに必要な資金を1世帯10万円を限度として貸付けを行った。（向日市社会福祉協議会に業務を委託） 実績：①夏期 2件 175,000円 ②冬期 1件 100,000円 ●生活困窮者自立相談支援の実施（社協） 新規相談件数 72件（12月末付） プラン作成件数 16件（12月末付）	B
			②相談機関のネットワークの強化・複雑かつ多様化している福祉関連情報や課題を共有できる仕組みの構築を進めます。	●乙訓圏域障がい者自立支援協議会における連携	45	障がい者支援課	●「自立支援協議会」の設置・運営 概要：平成19年度設置。乙訓圏域における障がい福祉サービスの基盤整備と利用に関する総合調整を目的とする。 実績：①7つの部会・委員会等による会議の開催…合計48回開催 ②4つの研修の実施（喀痰吸引等フォローアップ研修、相談支援専門員のスキルアップ研修等） ※いずれも平成28年度	A	●「自立支援協議会」の設置・運営 概要：平成19年度設置。乙訓圏域における障がい福祉サービスの基盤整備と利用に関する総合調整を目的とする。 実績：①6つの部会・委員会等による会議の開催…合計30回開催 ②2つの研修の実施 ※いずれも平成29年度	A

第 2 期計画（前期計画）			取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況	
			③生活課題・地域ニーズの把握 ・地域ニーズや生活課題の把握については、各種アンケート調査のほか、地域福祉活動を通じた把握に努め、サービスや制度を検討していきます。	●地域ニーズの把握	・アンケート調査などにより、地域ニーズや課題などの把握に努めます。 ・井戸端会議等の地域の人が集う機会を活用し、不安や心配ごと等の聞き取りを行います。 ・アンケート調査等に回答しやすいように、調査方法等を検討します。	46	地域福祉課	●アンケート調査の実施（向日市民生児童委員連絡協議会） 概要：地域の人が集う機会を活用し、不安や心配ごと等の聞き取りを行った。 実績：向日市まつり、井戸端会議	B	●アンケート調査の実施（向日市民生児童委員連絡協議会） 概要：地域の人が集う機会を活用し、不安や心配ごと等の聞き取りを行った。 実績：向日市まつり、井戸端会議	B	
				●生活課題の把握	・本市では、各種アンケート調査に加え、地域福祉活動を通じて地域の福祉やニーズや生活課題の把握に努めるとともに、これらを参考に今後のサービス制度を検討します。	47	地域福祉課	●向日市地域福祉計画推進委員会の開催 概要：地域福祉行政の総合的な推進と意見集約を行うため、向日市地域福祉計画推進委員会を開催した。これに先立ち、「第2期向日市地域福祉計画（前期計画）進捗状況調査」を実施し、各施策の実施状況の点検を行った。 開催日：平成30年3月27日 出席者10人（予定）	B	●向日市地域福祉計画推進委員会の開催 概要：地域福祉行政の総合的な推進と意見集約を行うため、向日市地域福祉計画推進委員会を開催した。これに先立ち、「第2期向日市地域福祉計画（前期計画）進捗状況調査」を実施し、各施策の実施状況の点検を行った。 開催日：平成31年3月20日 出席者9人（予定）	B	
				●地域ケア会議におけるニーズ把握	・高齢者に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備を進めるため、地域ケア会議において、ケアマネジメント支援を通じて、地域の課題を明確にし、地域のネットワーク構築につなげていきます。	48	高齢介護課	●地域ケア会議の開催 概要：地域包括支援センターが主となり多職種協働のもと、フォーマルのみならずインフォーマルな資源やサービスも活用しながら、個別ケースの支援内容の検討を行う地域ケア会議と、その積み重ねを通し関係者の課題解決能力の向上や地域包括支援ネットワークを構築するための地域包括ケア会議を実施した。 実績：地域ケア会議20回、地域包括ケア会議2回（平成29年度末見込数）	B	●地域ケア会議の開催 概要：地域包括支援センターが主となり多職種協働のもと、フォーマルのみならずインフォーマルな資源やサービスも活用しながら、個別ケースの支援内容の検討を行う地域ケア会議と、その積み重ねを通し関係者の課題解決能力の向上や地域包括支援ネットワークを構築するための地域包括ケア会議を実施した。 実績：地域ケア会議36回、地域包括ケア会議2回（平成30年度末見込数）	B	
4 地域ぐるみの安心・安全対策の推進												
	(1)	虐待の防止と権利擁護の推進	①虐待防止・早期対応 ・高齢者や障がい者、児童等に対する虐待防止、早期発見、早期対応に向け関係機関との連携を強化します	●地域での見守り活動	・虐待の未然防止を図るため、地域住民や民生委員・児童委員と密接に連携し、地域での効果的な見守り活動に取り組みます。	49-1	地域福祉課	●民生児童委員による見守り活動の実施【再掲】 概要：ひとり暮らし高齢者や要配慮者等、見守りが必要な家庭に対して随時の訪問活動を実施し、安否確認や孤立防止を図った。 実績：延べ約7,500人	B	●民生児童委員による見守り活動の実施【再掲】 概要：ひとり暮らし高齢者や要配慮者等、見守りが必要な家庭に対して随時の訪問活動を実施し、安否確認や孤立防止を図った。 実績：延べ約7,500人	B	
							49-2	高齢介護課	●虐待防止の取組 概要：高齢者の虐待の防止に向け、関係機関の連携強化を図るとともに、虐待の予防・早期発見・早期対応及び防止に係る協議を行うため、向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会と施設職員又は市民向けの啓発出前講座を開催 実績：向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会2回開催 啓発出前講座5回開催（平成29年度末見込数）	B	●虐待防止の取組 概要：高齢者の虐待の防止に向け、関係機関の連携強化を図るとともに、虐待の予防・早期発見・早期対応及び防止に係る協議を行うため、向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会と施設職員又は市民向けの啓発出前講座を開催 実績：向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会2回開催 啓発出前講座5回開催（平成30年度末見込数）	B
							49-3	障がい者支援課	●虐待防止パンフレットの設置 概要：一般住民向けに法の趣旨について啓発した。	A	●虐待防止パンフレットの設置 概要：一般住民向けに法の趣旨について啓発した。	A
							49-4	子育て支援課	●虐待防止 概要：児童福祉法に基づき、法定協議会である要保護児童対策地域ネットワーク協議会において、児相、学校、警察などの多様な関係機関との連携により虐待防止に取り組んだ。	B	●虐待防止 概要：児童福祉法に基づき、法定協議会である要保護児童対策地域ネットワーク協議会において、児相、学校、警察などの多様な関係機関との連携により虐待防止に取り組んだ。	B
					●児童虐待防止への取組み	・オレンジリボン運動の推進や、189（いち はやく）（児童相談所全国共通ダイヤル）等の周知など、児童虐待に対する広報・啓発活動を推進し、児童虐待防止に向けた取組みを推進します。 ・児童相談所などの関係機関等と連携して未然防止を図るとともに、切れ目ない支援を行うなど、総合的な家庭支援を行います。 ・市内の子どもに関わる関係機関15団体で、「向日市要保護児童対策地域ネットワーク会議」を設置し、代表者会議・実務者会議・個別ケース会議を通じて、保護を要する子どもの早期発見、適切な保護に努めます。	50	子育て支援課	●オレンジリボン運動推進 概要：児童虐待防止月間である11月に全職員対象にオレンジリボンの配布、着用により運動の推進をした。 ●児相等との連携 概要：常時連携、虐待困難ケースについて、児童福祉法に基づき、援助依頼や送致などを実施した。 ●要保護児童対策地域ネットワーク会議 概要：代表者会議…年1回、実務者会議…年6回、ケース会議年…年60回（見込み） ●家庭相談員 概要：2名配置	B	●オレンジリボン運動推進 概要：児童虐待防止月間である11月に全職員対象にオレンジリボンの配布、着用により運動の推進をした。 ●児相等との連携 概要：常時連携、虐待困難ケースについて、児童福祉法に基づき、援助依頼や送致などを実施した。 ●要保護児童対策地域ネットワーク会議 概要：代表者会議…年1回、実務者会議…年6回、ケース会議年…年50回（見込み） ●家庭相談員 概要：2名配置	B
			●障がい者虐待防止への取組み	・障がい者虐待防止センター（乙訓2市1町で共同設置）を中心に、障がい者虐待の防止に取り組めます。 ・障がい特性や障がいのある人が抱える生活課題等について理解を促す啓発に努めるとともに、関係機関と連携を図り、広報むこうや研修会などを通じて虐待防止に努めます。 ・虐待が発生した場合は、関係者によるコアメンバー会議※1を開催し、速やかに対応を行います。	51	障がい者支援課	●障がい者虐待防止センター 概要：障がい者虐待の防止や早期発見、相談、支援等を行うため、乙訓2市1町で設置 実績：通報受理件数 養護者虐待3件 施設従事者による虐待0件 使用者による虐待0件 ※平成28年度実績	A	●障がい者虐待防止センター 概要：障がい者虐待の防止や早期発見、相談、支援、啓発等を行うため、乙訓2市1町で設置 実績：通報受理件数 養護者虐待件6件 施設従事者による虐待件3件 使用者による虐待件1件 虐待防止に係る研修会2回 ※平成29年度実績	A		

第2期計画（前期計画）				取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況	
				●高齢者虐待防止への取組み	・介護支援専門員や介護サービス事業所、介護施設の職員を対象に、虐待のリスクを早期に把握するためのチェックリストの活用や虐待防止のための対応方法についての研修会を開催するなど、関係団体や関係機関における虐待防止の対応力向上に努めます。	52	高齢介護課	●虐待防止の取組 概要：高齢者の虐待の防止に向け、関係機関の連携強化を図るとともに、虐待の予防・早期発見・早期対応及び防止に係る協議を行うため、向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会と施設職員又は市民向けの啓発出前講座を開催 実績：向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会2回開催 啓発出前講座5回開催 （平成29年度未見込数）	B	●虐待防止の取組 概要：高齢者の虐待の防止に向け、関係機関の連携強化を図るとともに、虐待の予防・早期発見・早期対応及び防止に係る協議を行うため、向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会と施設職員又は市民向けの啓発出前講座を開催 実績：向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会2回開催 啓発出前講座5回開催 （平成30年度末見数）	B		
				●子育てコンシェルジュ事業等による虐待未然防止	・子育てコンシェルジュ（子育て総合相談窓口）推進事業を通じて、安心して産み育てる体制や環境づくりを行い、虐待の未然防止に努めます。 ・母子健康手帳発行時にすべての妊婦と保健師等が面接し、支援が必要な人には、妊娠中、産後、子育て期と継続的な支援を行います。	53	健康推進課	●子育てコンシェルジュ 面接した妊婦全員に個別支援プランを作成し、必要者には継続支援を行っている。 個別支援プランに沿った子育て応援パートナー派遣事業やプレママサロンを活用するほか、地区担当保健師により関係機関と連携し継続的な支援を行っている。	B	●子育てコンシェルジュ 妊婦全員に面接後にアセスメントを行い、必要な妊婦に個別支援プランを作成し継続支援を行っている。 個別支援プランに沿った子育て応援パートナー派遣事業やプレママサロンを活用するほか、地区担当保健師により関係機関と連携し継続的な支援を行っている。	B		
				②権利擁護事業の推進 ・認知症、高齢者、精神障がいや知的障がいのある人などで、サービスの利用や契約などの意思表示や決定をすることが十分にできない人たちへの支援として、成年後見制度を周知し、普及を促進します。	●成年後見制度の普及	・成年後見制度の周知に努めるとともに、利用にあたっての支援を行います。	54-1	高齢介護課	●成年後見利用支援事業の実施 概要：判断能力が不十分な認知症高齢者等で成年後見制度の利用が必要な方のうち、親族等がいないなどの理由で本人や親族による後見開始の審判請求ができない場合に行う市長申し立てや成年後見制度を利用している方が、成年後見人等に支払う報酬を負担することが困難な場合に、その費用の一部を助成する事業。 実績：市長申立件数0件 報酬助成件数12件 （平成30年2月末現在）	B	●成年後見利用支援事業の実施 概要：判断能力が不十分な認知症高齢者等で成年後見制度の利用が必要な方のうち、親族等がいないなどの理由で本人や親族による後見開始の審判請求ができない場合に行う市長申し立てや成年後見制度を利用している方が、成年後見人等に支払う報酬を負担することが困難な場合に、その費用の一部を助成する事業。 実績：市長申立件数1件 報酬助成件数12件 （平成31年2月末現在）	A	
					●日常生活自立支援事業の推進	・軽度の認知症の高齢者や精神障がいのある方が、個人の尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を送るため、必要な支援を円滑に受けられることができるよう関係機関と連携し、制度の活用に努めます。【市社協との連携】	54-2	障がい者支援課	●成年後見利用支援事業 概要：判断能力が不十分な障がい者で成年後見制度の利用が必要な方のうち、親族等がいないなどの理由で本人や親族による後見開始の審判請求ができない場合に、市長が家庭裁判所に審判請求を行い、その費用や成年後見人等の報酬に係る費用を助成した。 実績：審判請求件数1件、費用助成件数2件 ※平成28年度実績	A	●成年後見利用支援事業 概要：判断能力が不十分な障がい者で成年後見制度の利用が必要な方のうち、親族等がいないなどの理由で本人や親族による後見開始の審判請求ができない場合に、市長が家庭裁判所に審判請求を行い、その費用や成年後見人等の報酬に係る費用を助成した。 実績：審判請求件数1件、費用助成件数3件 ※平成29年度実績	A	
					●日常生活自立支援事業の推進	・軽度の認知症の高齢者や精神障がいのある方が、個人の尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を送るため、必要な支援を円滑に受けられることができるよう関係機関と連携し、制度の活用に努めます。【市社協との連携】	55	地域福祉課	●日常生活自立支援事業の実施（社協） 新規相談件数 延べ10件（見込） 契約件数 35件（平成30年1月末現在）	B	●日常生活自立支援事業の実施（社協） 新規相談件数 延べ15件（12月末付） 契約件数 39件（12月末付）	B	
				③生活困窮者への支援 ・生活保護に至る前の生活困窮者を自立支援するため、生活困窮者自立支援法に基づく取組みを進めます。	●生活困窮者自立支援体制を構築	・生活困窮者相談窓口を市社協に設置し、生活に困窮している人への早期対応により、生活保護に至る前に適切な支援に努めます。	56	地域福祉課	●生活困窮者自立支援事業【再掲】 概要：生活困窮者自立支援法が平成27年4月から施行されたことに伴い、生活保護に至るまでの生活困窮者に対する自立支援施策として、自立相談支援事業、就労準備支援事業、住宅確保給付金事業を実施した。 実績：①生活困窮者自立相談支援事業（向日市社協に委託） 相談件数 120件（見込み） ②住宅確保給付金 0件 金額 0円	B	●生活困窮者自立支援事業【再掲】 概要：生活困窮者自立支援法が平成27年4月から施行されたことに伴い、生活保護に至るまでの生活困窮者に対する自立支援施策として、自立相談支援事業、就労準備支援事業、住宅確保給付金事業を実施した。 実績：①生活困窮者自立相談支援事業（向日市社協に委託） 相談件数 72件（12月末付） ②住宅確保給付金 0件 金額 0円	B	
					●生活困窮者への支援	・生活相談員と就労支援員を配置し、ハローワークと連携した就労支援、住宅確保給付金の利用など、生活困窮者の相談事業に取り組みます。【市社協との連携】	57	地域福祉課	●就労準備支援事業、住宅確保給付金事業【再掲】 概要：生活困窮者自立支援法が平成27年4月から施行されたことに伴い、生活保護に至るまでの生活困窮者に対する自立支援施策として、就労準備支援事業、住宅確保給付金事業を実施した。 実績：住宅確保給付金 0件 金額 0円 ●生活困窮者支援ネットワーク研修会の実施（社協） 関係機関との連携を図るための研修会を実施 講師：山本幸子さん （舞鶴市役所生活支援相談センター所長）他 対象者：行政関係者、民生委員 参加者：50名（見込み）	B	●就労準備支援事業、住宅確保給付金事業【再掲】 概要：生活困窮者自立支援法が平成27年4月から施行されたことに伴い、生活保護に至るまでの生活困窮者に対する自立支援施策として、就労準備支援事業、住宅確保給付金事業を実施した。 実績：住宅確保給付金 0件 金額 0円 ●生活困窮者支援ネットワーク研修会の実施（社協） 関係機関との連携を図るための研修会を実施 講師：生田一朗さん （乙訓障害者事業協会） 対象者：行政関係者、病院の相談員等 参加者：10名（見込み）	B	
			(2)	安心・安全なまちづくり	①「災害時避難行動要支援者名簿」への登録促進 ・災害時で万が一のときに助け合える地域づくりを進めるため、地域における要支援者の安否確認などについて、関係機関が連携できる体制づくりを促進していきます。	●災害時避難行動要支援者名簿への登録	・「災害時避難行動要支援者名簿」への登録を働きかけます。	58-1	地域福祉課	●災害時避難行動要支援者名簿 概要：当課で対応する災害時避難行動要支援者に、名簿登録を勧奨した。	B	●災害時避難行動要支援者名簿 概要：当課で対応する災害時避難行動要支援者に、名簿登録を勧奨した。	B
								58-2	高齢介護課	●災害時避難行動要支援者名簿 概要：当課や地域包括支援センターで対応する高齢者等に、災害時避難行動要支援者登録を勧奨した。	B	●災害時避難行動要支援者名簿 概要：当課や地域包括支援センターで対応する高齢者等に、災害時避難行動要支援者登録を勧奨した。	B

第2期計画（前期計画）			取組の方向性	施策・事業	具体的な取り組み	連番	所管課	事業概要及び実績（平成29年度）	進捗状況	事業概要及び実績（平成30年度）	進捗状況
						58-3	障がい者支援課	●災害行動要支援者名簿 概要：災害が発生時、または発生のおそれが生じた場合に、避難支援等関係者に提供する名簿情報を作成した。 対象者：身体障害者手帳1級・2級所持者および療育手帳A所持者 実績：身体障害者手帳1級所持者 678名 身体障害者手帳2級所持者 310名 療育手帳A所持者 182名	A	●災害行動要支援者名簿 概要：災害が発生時、または発生のおそれが生じた場合に、避難支援等関係者に提供する名簿情報を作成した。 対象者：身体障害者手帳1級・2級所持者および療育手帳A所持者 実績：身体障害者手帳1級所持者 683名 身体障害者手帳2級所持者 309名 療育手帳A所持者 196名	A
						58-4	防災安全課	●災害時避難行動要支援者名簿の整備 概要：向日市在住の(1)65歳以上の独居高齢者、(2)65歳以上の高齢者世帯、(3)身体障害者手帳1級2級を所有している方、(4)療育手帳A判定の方、(5)要介護認定において、要介護3以上の認定を受けている方などの自力で避難できない方（要支援者）に対して平常時から日頃の見守りや災害時の情報伝達の支援・避難行動支援を行うため、災害時避難行動要支援者名簿の作成を行い、連合自治会等の関係機関に提供を行った。 実績：2,850人登録（平成30年2月1日時点）	B	●災害時避難行動要支援者名簿の整備 概要：向日市在住の(1)65歳以上の独居高齢者、(2)65歳以上の高齢者世帯、(3)身体障害者手帳1級2級を所有している方、(4)療育手帳A判定の方、(5)要介護認定において、要介護3以上の認定を受けている方などの自力で避難できない方（要支援者）に対して平常時から日頃の見守りや災害時の情報伝達の支援・避難行動支援を行うため、広報むこう、各戸回覧にて名簿への登録を呼びかけ、周知を図るとともに災害時避難行動要支援者名簿の作成を行った。また、消防等関係機関との情報共有を行うために協議・準備を行った。	B
				●要配慮者への支援	・災害時、必要に応じて市社協へ災害ボランティアセンターの設置を要請し、要配慮者へ支援を行います。【市社協との連携】	59	地域福祉課	●災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施（社協） 自治会等と連携して、市内9か所で高齢者の安否確認訓練を実施した。 対象者：自治会役員等、高齢者 参加者：102人	B	●災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施（社協） 平成30年9月15日（土）8時30分～12時（場所：向陽小学校）平成30年台風21号被害のため中止 ●向日市災害ボランティアセンターの設置・運営（社協） 概要：平成30年台風21号被害に伴い、向日市から向日市社協に「向日市災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定書」に基づく要請があり、災害ボランティアセンターの設置及び運営を行った。（開設前に事前説明会を平成30年9月10日（月）19時30分～20時10分、平成31年9月11日（火）13時30分～14時に行った。） センター設置期間： 平成30年9月12日～9月17日 向日市役所第1会議室 平成30年9月18日～9月25日 向日市福祉会館（本会事務局対応） 相談件数:25件 支援対応件数：16件 ボランティア活動者数：23人（延べ26人） マッチング回数：18回（継続2回を含む）	A
			②消費者被害防止対策の推進 ・地域や警察など関係機関との連携のもとに、消費者被害等の未然防止に努めます。	●消費生活相談	・悪質商法や多重債務、訪問販売などの契約に関わるトラブルなど消費生活について相談を行います。 ・「188（いやや）（消費者ホットライン）」など相談機関についての周知を図ります。	60	産業振興課	●消費生活センター 概要：向日市民を対象に悪質商法や多重債務、訪問販売などの契約に関わるトラブルなど消費生活について相談を行った。 実績：相談件数235件（平成30年1月31日終了時点） ●188（消費者ホットライン） 概要：188（消費者ホットライン）などの相談窓口について、啓発を通じて、周知を図った。 実績：啓発回数5回（出前講座4回、向日市まつり）	B	●消費生活センター 概要：向日市民を対象に悪質商法や多重債務、訪問販売などの契約に関わるトラブルなど消費生活について相談を行った。 実績：相談件数 件（平成31年1月31日終了時点） ●188（消費者ホットライン） 概要：188（消費者ホットライン）などの相談窓口について、啓発を通じて、周知を図った。 実績：啓発回数3回（出前講座、街頭啓発、向日市まつり）	B
				●出前講座	・高齢者等の消費生活についてトラブル等を防止するため出前講座等を行います。	61	産業振興課	●出前講座概要：市民を対象に、悪質商法を中心に消費生活トラブルについて	B	●出前講座 概要：市民を対象に、悪質商法を中心に消費生活トラブルについて、消費生活相談員による講座を実施し、消費者意識の向上・醸成を図った。 実績：1回（平成31年1月31日現在）	B
	(3)	外出しやすい環境づくり	①バリアフリー化の推進 ・公共施設等のバリアフリー化の推進を図ります。	●バリアフリー化の計画的な推進	・市内移動の円滑化を図るため、バリアフリー基本構想、向日市公共物特定事業計画に基づき、計画的に整備を進めます。	62-1	道路整備課	●市道の整備 ・市道第6011号線：観光ルート美装化に伴い歩行空間を確保。（道路整備課） ・市道第6002号線：観光ルート美装化に伴い歩行空間整備に着手（道路整備課） ・市道第2087号線、市道第3031号線、寺戸幹線6号など：拡幅改良事業を実施（道路整備課） ・桂寺戸線、森本上植野幹線、市道第2087号線など：すりつけブロックを設置（道路整備課）	B	●市道の整備 ・市道第2087号線：寺戸事務所から東向日駅間の拡幅改良事業の完了（道路整備課） ・市道第0058号線（寺戸幹線6号）：歩道がない区間の拡幅整備に着手（道路整備課） ●府道の整備 ・西京高槻線：寺戸事務所前を含む寺戸工区の拡幅整備完了	B
						62-2	公園交通課	●公園のバリアフリー化事業 概要：西向日公園と勝山公園に多機能トイレ等を整備することにより、公園のバリアフリー化を推進した。	B	●公園のバリアフリー化事業 概要：北大極殿公園及び大極殿公園の両公園を一体的に利用することで、より市民や来訪者が憩い、やすらぐことのできる場とするため、北大極殿公園内の大極殿公園境界部において、段差解消のための盛土工や園路の整備を行い、バリアフリー化を推進した。	B
						62-3	公共建物整備課	●管理施設のバリアフリー化事業 概要：（仮称）向日市女性活躍推進センター 鉄骨造3階建 新築 延床面積384.13㎡ 実績：多目的便所、車いす対応便器、オストメイト、ベビーシート、ベビーチェア、手摺、点字プレート、点字ブロック、エレベーターの設置。	済	●管理施設のバリアフリー化事業 向日市庁舎別館において、多目的トイレ、車いす対応便器、オストメイト、ベビーシート、ベビーチェア、手摺の設置を行った。 向日市議会棟において、エレベーターの設置を行った。	済



資料 2

地域福祉懇談会報告書 (森本地区・向日地区)

平成 3 1 年 3 月
市民サービス部地域福祉課

1 開催日時

- ①平成31年2月9日（土）午前10時から午前11時45分まで
- ②平成31年2月16日（土）午前10時から午後12時まで

2 場 所

- ①森本公民館 1階 大会議室
- ②向日コミュニティセンター 1階 レクリエーションルーム

3 参 加 者

- ①21名（森本区長含む）
 - 市職員8名
 - 向日市社会福祉協議会職員1名
 - 向日市民生児童委員連絡協議会 会長
- ②17名（向日区長含む）
 - 市職員9名

4 内 容

- （1）開 会
- （2）あいさつ（各区長・地域福祉課長）
- （3）講演「地域での支え合い」について
- （4）グループワーク「みんなが安心して過ごせる避難所を考えよう！」
- （5）閉 会

5 グループワーク「みんなが安心して過ごせる避難所を考えよう！」において参加者から出た主な意見

①森本地区

- ・避難所のレイアウトを決めるのは難しい
- ・混乱を減らすため事前に避難所でのルールを決めておく
- ・避難所でリーダーとなる人を事前に複数決めておく
- ・ストレスを軽減するために相談できる人、困りごと相談のスペースを設置する
- ・正しい情報の入手、周知のため掲示板を設置し活用する
- ・居住スペースを区切る（高齢者、障がい者、子連れ、ペット連れなど）
- ・一時避難場所を組毎等で決めて周知する
- ・日頃からこうしたイベントに積極的に参加し顔見知りを作る
- ・町内会の加入者を増やす（町内会未加入者の安否がわからない）
- ・常にいざというときのことを考える

②向日地区

- ・グループ（障がい者、子連れ、ペット連れ等）でエリアを分けて躊躇わず避難してもらえる工夫をする
- ・組長、民生委員から伝達するなど正確な情報伝達ができるようにする
- ・自治会未加入者を減らす取り組みをする
- ・消防団の加入者を増やす、いざというとき頼れる存在として認識してもらう
- ・隣近所の交流を促進する
- ・地域の行事に参加してつながり作りをする
- ・町内の要配慮者（高齢者など）を把握しておく
- ・避難所での役割分担を考えておく
- ・防災訓練に参加する

地域福祉懇談会（2／9 森本地区）



防災安全課による講座の様子



段ボールベッド組み立て体験の様子



段ボールベッド組み立て体験の様子



グループワークの様子

地域福祉懇談会（2／16向日地区）



段ボールベッド組み立て体験の様子



段ボールベッド組み立て体験の様子



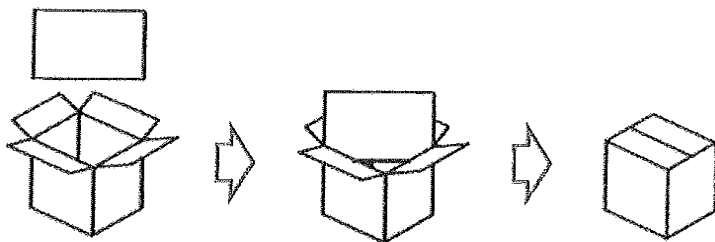
グループワークの様子



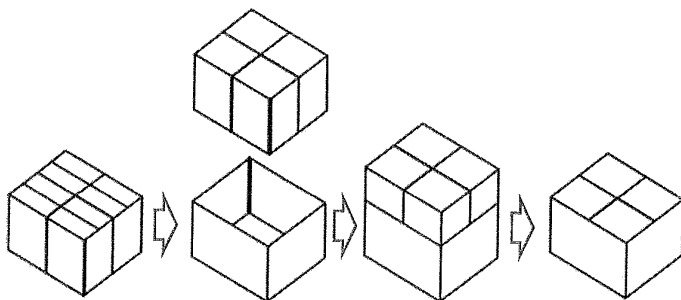
グループワーク発表の様子

段ボールベッドを組み立てよう！

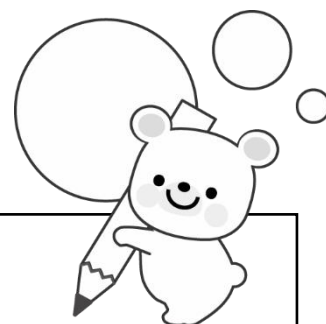
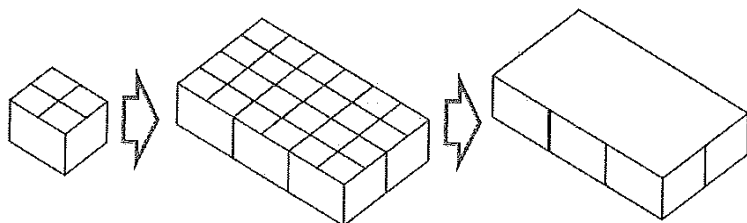
(1)箱を24個作ります。



(2)(1)で作った箱4個をスリーブ（段ボール製の枠）に入れてまとめます。



(3)(2)で作ったものを2個×3列に並べ、上からシート状の段ボールを載せて完成！



段ボールベッドって？

その名のとおり段ボールで作ったベッド。

体育館等の避難所生活というと、多くの方は雑魚寝をイメージされるかもしれませんが、東日本大震災以降、避難所で段ボールベッドを利用されるケースが増えてきています。

ベッドを利用することで、エコノミー症候群の予防、呼吸器疾患の予防など、二次被害の予防に繋がります。足腰が悪い方も立ち上がりがスムーズに行え、介護者の負担も軽減できます。

今回、組み立て体験をしていただくのは、レンゴー株式会社様の製品で、向日市はレンゴー株式会社新京都事業所様と災害発生時に段ボールベッド等を供給していただく協定を結んでいます。



床で寝ると寒い！
ベッドなら寝起きも
楽になるね。

ベッドで寝ると、
ほこりを吸い込むの
を防げるんだね！



グループワークシート

（１）みんなが安心して過ごせる避難所を考えよう！

災害の状況：震度６強の地震

被害状況：あなたの家はライフラインが停止しており、傾いており居住できません。

災害発生から３日経ち、救援物資、ボランティアの受け入れが始まった状態。

避難場所：地域の小学校の体育館

体育館の避難所レイアウトを書いても、「こんなスペースがあったら便利！」や「こういうサービスが必要なんじゃないかな？」といったアイデアを箇条書きにしても、なんでもかまいません。
みんなが安心して過ごせる避難所に必要なこと（モノ）を考えてみましょう。

- ヒント：ご近所に避難所生活で困りごとがでてくる人はいませんか？
（例：足が不自由、車椅子を使っている、耳が不自由、乳児連れ、食物アレルギーがあるなど）
- ヒント：避難所にあるといいと思うものは？
（例：段ボールベッド、授乳室、談話スペースなど）

困りごと	解決策

（２）平時からできることを考えよう！

最初の講座でも話がありましたが、有事には地域での「自助・共助」が重要になってきます。
いざというとき、地域で支え合うために平時から地域で取り組めることを考えてみましょう。

自分でできること	（例：緊急時に持ち出すものをまとめておく）
地域でできること	（例：町内で防災訓練を実施する）

回 覧

非常食の試食
できます！

みんなでつくろう！ 安心して過ごせる避難所 In 森本地区



(第2回地域福祉懇談会)

もしものとき地域で支え合うために、
ちょっとお話してみませんか？

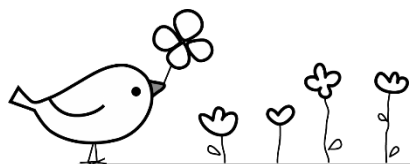
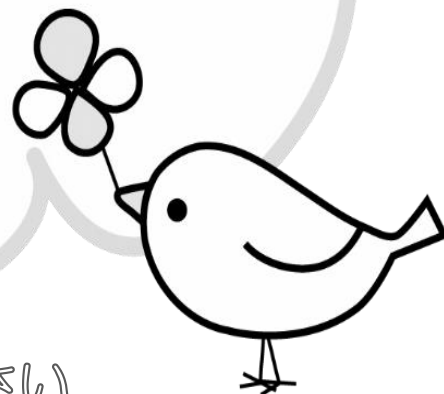
平成31年

2月9日(土)

午前10時～正午

.....

場 所
森本公民館
大会議室



お気軽にご参加ください

【対象者】向日市内（主に森本地区）にお住まいの方など

【内 容】

①講座「災害時に地域で支え合うために」

講師：向日市環境経済部防災安全課職員

②段ボールベッド組み立て体験

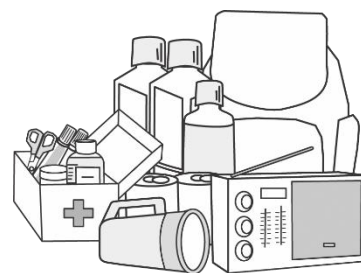
③グループワーク

「みんなが安心して過ごせる避難所って？」

【定 員】24名（定員になり次第締め切ります）

【申込み】

2月1日(金)までに 森本公民館（電話／FAX931-1183）
へお申し込みください



保育（1歳～就学前・定員3名）、手話通訳、要約筆記があります
1月28日(月)までに森本公民館へお申し込みください

回 覧

非常食の試食
できます！

みんなでつくろう！ 安心して過ごせる避難所 In 向日地区



(第3回地域福祉懇談会)

もしものとき地域で支え合うために、
ちょっとお話してみませんか？

平成31年

2月16日(土)

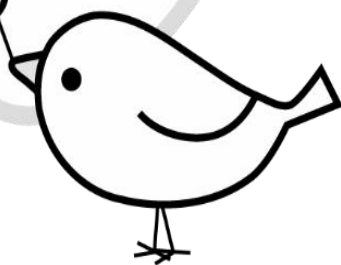
午前10時～正午

.....

場 所

向日コミセン

レクリエーションルーム



お気軽にご参加ください

【対象者】向日市内（主に向日地区）にお住まいの方など

【内 容】

①講座「災害時に地域で支え合うために」

講師：向日市環境経済部防災安全課職員

②段ボールベッド組み立て体験

③グループワーク

「みんなが安心して過ごせる避難所って？」

【定 員】24名（定員になり次第締め切ります）

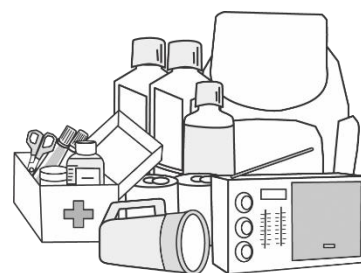
【申込み】

2月8日（金）までに向日市地域福祉課へお申し込みください



保育（1歳～就学前・定員3名）、手話通訳、要約筆記があります

2月4日（月）までに向日市地域福祉課へお申し込みください





資料 3

次期計画策定に向けた アンケート調査について

平成 3 1 年 3 月
市民サービス部地域福祉課

次期計画「第2期地域福祉計画（後期計画）」策定に向け地域の現状や福祉ニーズ等を把握・分析するための市民アンケートを行う予定をしております。

アンケートの大項目として、以下の8項目を想定しておりますが、各項目においてどのような事項を尋ねることで地域の現状やニーズ等の把握が可能となるかご審議の程、よろしくお願いいたします。

【アンケート大項目】

- 1 基本的事項
- 2 地域とのかかわり
- 3 地域の福祉について
- 4 悩みや困りごとについて
- 5 地域での支えあいについて
- 6 ボランティア活動について
- 7 社会全体や向日市の福祉について
- 8 こころの健康や自殺対策について



む こ う し
向日市
古都のむこう 魅力のふるさと

資料 4

向日市社会福祉協議会における 取組み事例について

平成 3 1 年 3 月
市民サービス部地域福祉課

Step 1 地域を知る



よそ者、若者がやってきた！

自治会存続の危機に取組む寺戸大牧自治会に立命館大学
学生3人が8月9日、延べ49時間地域づくりに取組む。

まち歩き



訪問インタビュー



困りごと、地域のつながり、地域づくりなどをヒアリングする。

Step 2 地域を担う



大牧のハードな故紙回収



提灯の飾り付け



夏祭りの遊びコーナー



はじめての盆踊り

「若者の発想を活かした地域づくり」

寺戸大牧自治会 × 立命館大学インターンシップ × 向日市社会福祉協議会

Step 3 地域づくりのバトンをつなぐ！

学生が地域の人と交流し、未来に地域づくりをつなげていくために知恵をだし、そのバトン考えた！

それが、**大牧チルドレン「敬老の日大作戦」**

これまで子どもを見守り、地藏盆などの行事を続けてくれた地域のお年寄りに、地域の子もたちから感謝の気持ちを込めた敬老のお祝いをしようというもの！

- ・集まった大牧チルドレン 17名/39名 ※親も引率
- ・敬老の日大作戦に手を挙げた75歳以上のお年寄り 103名/129名

忘れかけていた地域のぬくもりがあった！

これからは、大人から子どもへの一方の地域づくりのやり方じゃなく、子どもから大人への双方向の交流活動が大切と気づかせてくれた。

裏話1
保護者との打合せ

裏話2
組長さんの思いやり

裏話3
張り切る子ども
やさしいお年寄り



寺戸大牧自治会(向日市)

設立年：昭和41年

活動日：通年

活動場所：寺戸大牧自治会内

活動内容：自治会活動(ご近所福祉)

会員数：約230世帯

2018

大牧敬老の日大作戦

学生が作成したパンフをみてください。

立命館大学・向日市・寺戸大牧自治会

【協力】大牧自治会

向日市社会福祉協議会